
第7章

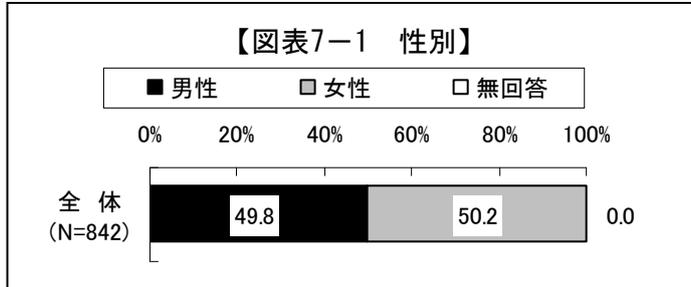
精神障がい者調査

(入院患者調査:二次調査結果)

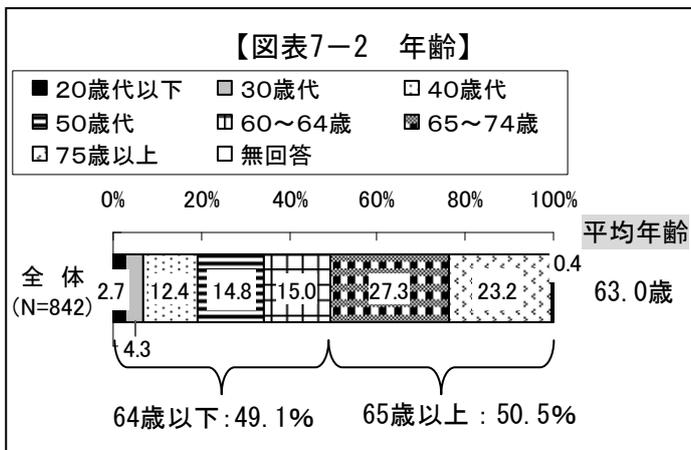
第7章 精神障がい者調査（入院患者調査：二次調査結果）

1. 入院患者の基本属性

(1). 性別・年齢・居住地区・収入源

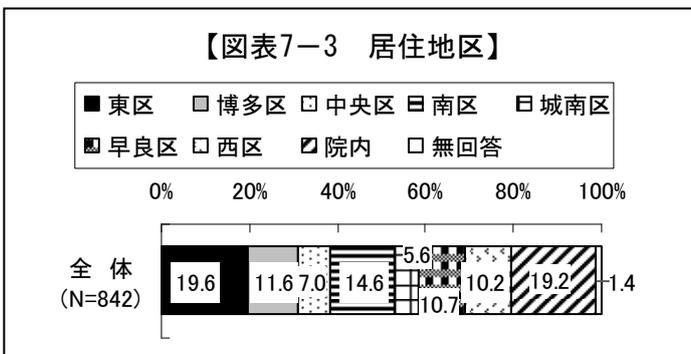


性別は、男女がほぼ半数ずつであった。

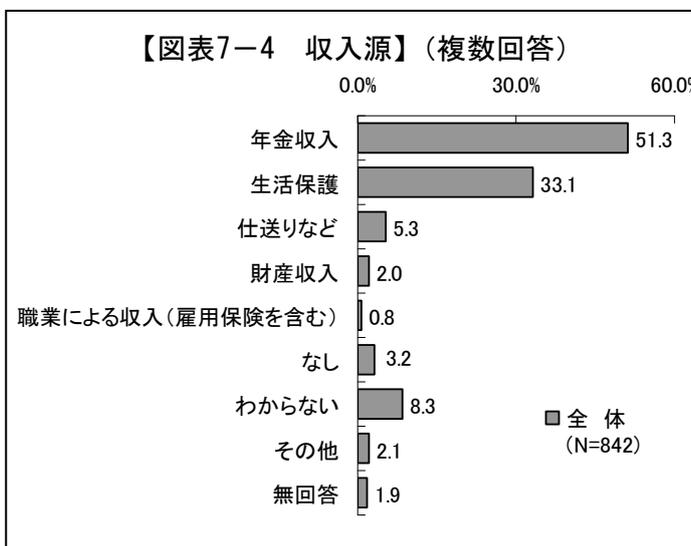


年齢は、65～74歳（27.3%）が最も多く、次いで「75歳以上」（23.2%）、「60～64歳」（15.0%）となっており、平均年齢は63.0歳である。

前回調査時（平成22年度）は、平均63.8歳であった。

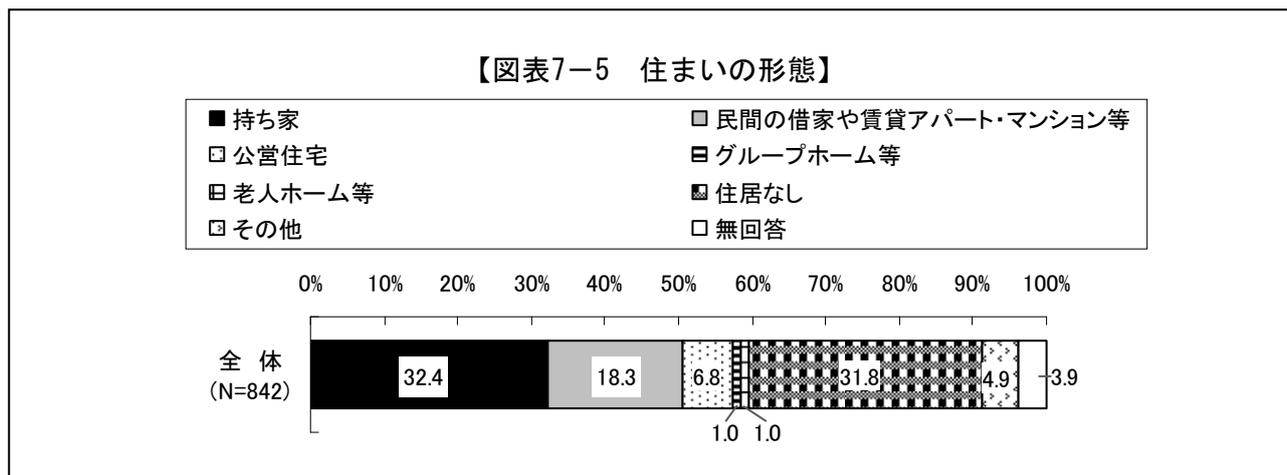


居住地区（住民票の所在地）としては、「東区」（19.6%）が最も多くなっているが、「院内」（19.2%）も約2割を占めている。



収入源としては、「年金収入」（51.3%）が最も多く、次いで「生活保護」（33.1%）となっている。

(2). 住まいの形態



住まいの形態としては、「持ち家」（32.4%）と「住居なし」（31.8%）がそれぞれ3割強で多く、次いで「民間の借家や賃貸アパート・マンション等」（18.3%）となっている。

年齢別にみると、「民間の借家や賃貸アパート・マンション等」の割合は概ね年代が若いほど高く、20歳代以下では過半数（56.5%）となっている一方、「住居なし」の割合は年代が上がるにつれて高くなっており、60歳以上では4割弱を占めている。

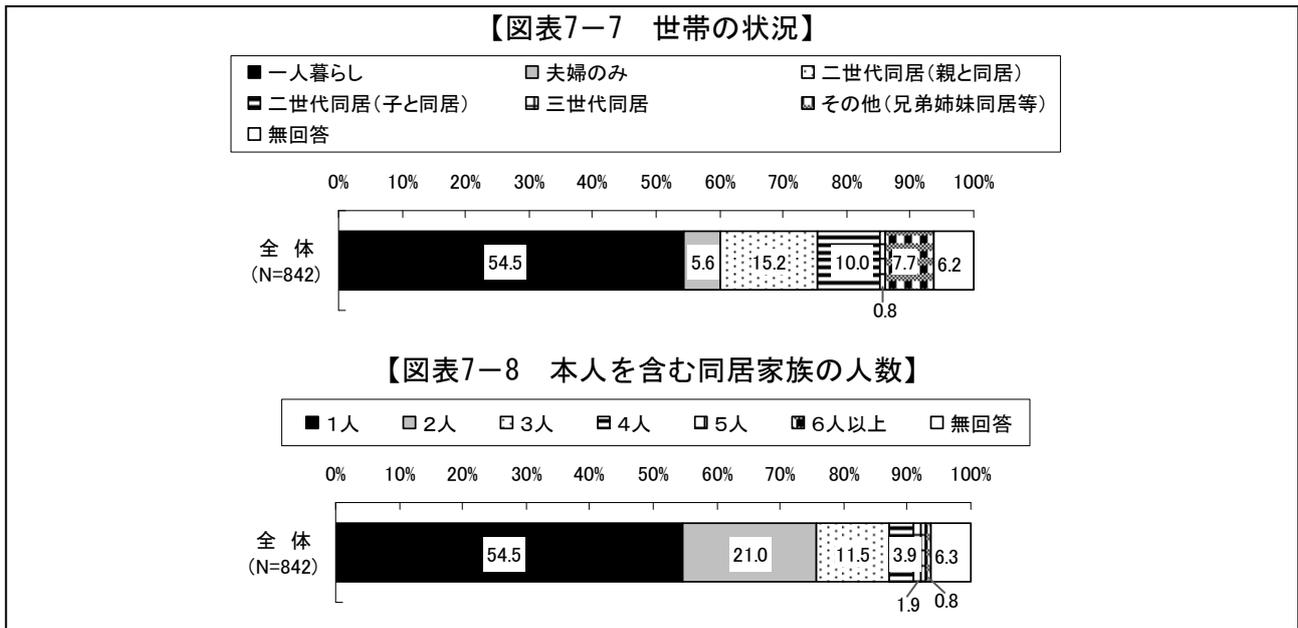
診断名（集約）別にみると、統合失調症の人では「住居なし」、気分（感情）障害や認知症では「持ち家」、依存症では「民間の借家や賃貸アパート・マンション等」の割合がそれぞれ他に比べて高く、4割前後を占めている。

入院期間別にみると、入院期間が1年未満までの人では「民間の借家や賃貸アパート・マンション等」の割合が3割前後を占めている。また、「住居なし」の割合は概ね入院期間が長いほど高くなっている。

【図表7-6 年齢別、診断名（集約）別、入院期間別 住まいの形態】 (%)

	調査数（人）	住まいの形態								
		持ち家	民間の借家や賃貸アパート・マンション等	公営住宅	グループホーム等	老人ホーム等	住居なし	その他	無回答	
全体	842	32.4	18.3	6.8	1.0	1.0	31.8	4.9	3.9	
年齢	20歳代以下	23	30.4	56.5	8.7	-	-	-	4.3	-
	30歳代	36	30.6	36.1	13.9	2.8	-	8.3	5.6	2.8
	40歳代	104	34.6	22.1	8.7	1.0	-	22.1	6.7	4.8
	50歳代	125	30.4	28.8	2.4	1.6	-	27.2	4.0	5.6
	60～64歳	126	34.1	19.0	3.2	0.8	-	36.5	4.8	1.6
	65～74歳	230	32.2	10.4	7.0	1.3	1.3	39.1	4.8	3.9
	75歳以上	195	32.8	9.7	9.2	-	2.6	36.4	4.6	4.6
無回答	3	-	66.7	-	-	-	33.3	-	-	
全体	842	32.4	18.3	6.8	1.0	1.0	31.8	4.9	3.9	
主な診断名（集約）	統合失調症	491	31.0	15.3	6.3	0.6	-	36.0	5.7	5.1
	気分（感情）障害	62	40.3	29.0	6.5	1.6	1.6	19.4	1.6	-
	依存症	45	22.2	40.0	8.9	-	2.2	24.4	2.2	-
	認知症	112	44.6	12.5	8.9	0.9	4.5	21.4	1.8	5.4
	その他	124	27.4	22.6	6.5	2.4	0.8	33.1	6.5	0.8
	無回答	8	25.0	12.5	-	-	-	37.5	12.5	12.5
全体	842	32.4	18.3	6.8	1.0	1.0	31.8	4.9	3.9	
入院期間	1ヶ月未満	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-
	1～3ヶ月未満	92	33.7	39.1	8.7	-	4.3	13.0	1.1	-
	3～6ヶ月未満	53	41.5	28.3	11.3	5.7	1.9	9.4	1.9	-
	6ヶ月～1年未満	70	28.6	32.9	5.7	4.3	-	20.0	5.7	2.9
	1～3年未満	180	31.7	13.9	11.7	0.6	0.6	31.7	4.4	5.6
	3～5年未満	105	33.3	18.1	2.9	-	-	37.1	2.9	5.7
	5～10年未満	131	33.6	9.9	7.6	0.8	0.8	38.9	5.3	3.1
	10年以上	172	30.8	7.6	1.7	-	-	47.7	7.0	5.2
	無回答	36	27.8	25.0	2.8	-	2.8	22.2	13.9	5.6

(3). 同居家族の状況



同居家族の続柄から世帯の状況を集約したところ、「一人暮らし」（54.5%）が過半数であり、「二世帯同居（親と同居）」（15.2%）と「二世帯同居（子と同居）」（10.0%）が1割台で続いている。また、家族人数は、「1人」（54.5%）が過半数で、次いで「2人」（21.0%）となっている。

年齢別にみると、30歳代以下では「二世帯同居（親と同居）」の割合が6～7割台で最も高いが、40歳代以降は「一人暮らし」の割合が年齢が上がるにつれて高くなっている。特に65歳以上の高齢者では6割以上が一人暮らしとなっている。

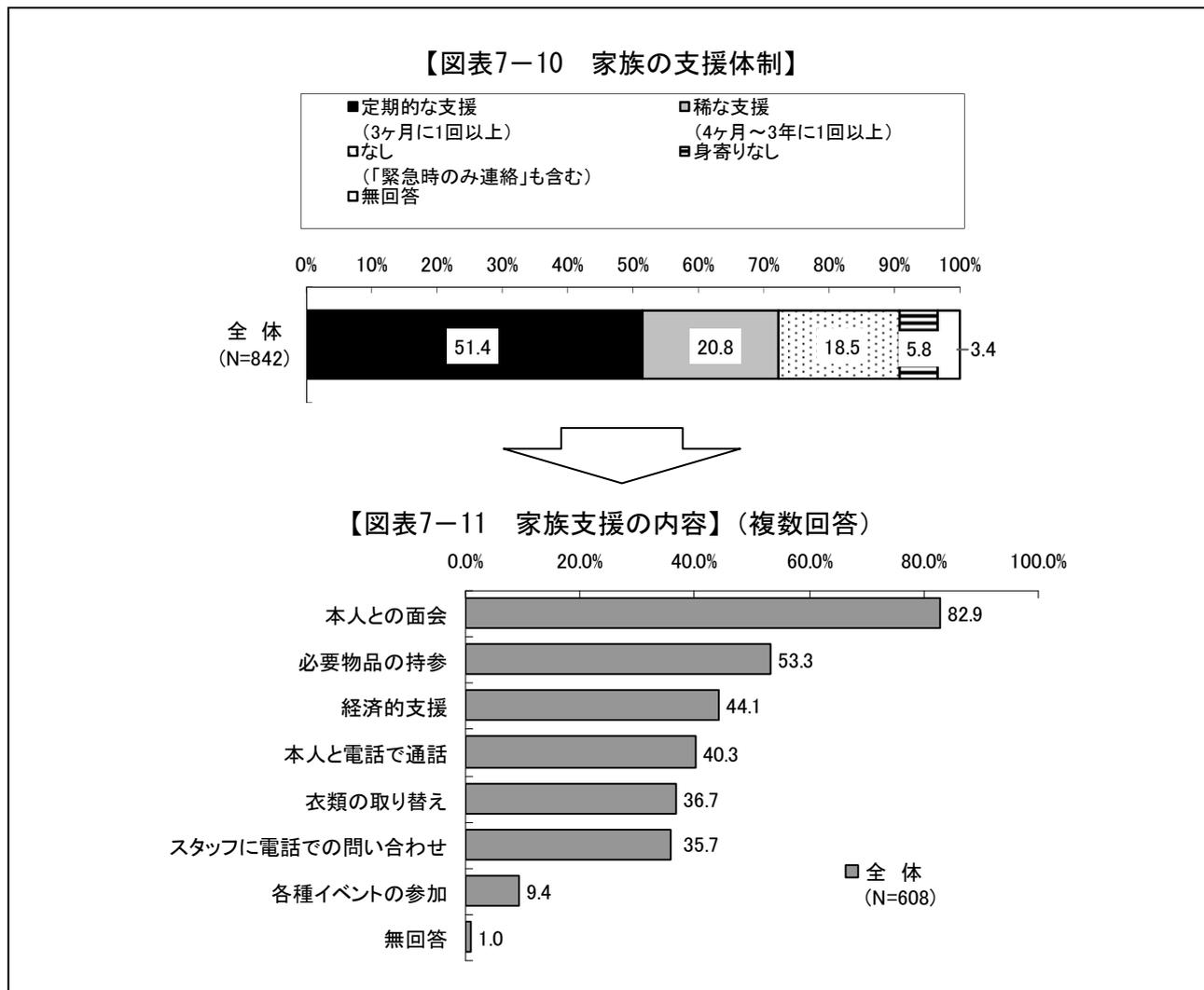
要介護認定別にみると、要支援1～2と要介護1～3の人では他に比べて「一人暮らし」の割合が6割強と高い。

主な診断名（集約）別にみると、すべての診断名において「一人暮らし」の割合が4割強～6割強と高い。

【図表7-9 年齢別、要介護認定別、主な診断名（集約）別 世帯の状況】（%）

	調査数（人）	世帯の状況							
		一人暮らし	夫婦のみ	（二世帯同居） （親と同居）	（二世帯同居） （子と同居）	三世帯同居	姉妹その他（兄弟）同居等	無回答	
全体	842	54.5	5.6	15.2	10.0	0.8	7.7	6.2	
年齢	20歳代以下	23	13.0	-	78.3	-	4.3	4.3	-
	30歳代	36	25.0	-	66.7	-	2.8	5.6	-
	40歳代	104	44.2	1.0	39.4	2.9	2.9	2.9	6.7
	50歳代	125	48.8	0.8	24.0	7.2	0.8	11.2	7.2
	60～64歳	126	56.3	7.1	9.5	7.1	0.8	14.3	4.8
	65～74歳	230	62.6	9.6	1.3	10.0	-	8.3	8.3
	75歳以上	195	63.1	7.2	-	20.0	-	4.1	5.6
	無回答	3	66.7	-	-	33.3	-	-	-
全体	842	54.5	5.6	15.2	10.0	0.8	7.7	6.2	
要介護認定	対象外（年齢）	60	21.7	-	70.0	-	3.3	5.0	-
	要介護認定なし	627	58.5	4.5	12.8	8.9	0.8	8.3	6.2
	要支援1～2	13	61.5	7.7	7.7	15.4	-	7.7	-
	要介護1～3	57	61.4	10.5	1.8	19.3	-	3.5	3.5
	要介護4～5	34	26.5	26.5	2.9	26.5	-	14.7	2.9
	無回答	51	52.9	5.9	5.9	11.8	-	3.9	19.6
全体	842	54.5	5.6	15.2	10.0	0.8	7.7	6.2	
主な診断名（集約）	統合失調症	491	56.4	1.8	19.3	5.1	0.8	9.6	6.9
	気分（感情）障害	62	45.2	14.5	9.7	17.7	3.2	6.5	3.2
	依存症	45	66.7	8.9	6.7	11.1	-	6.7	-
	認知症	112	48.2	16.1	1.8	24.1	-	4.5	5.4
	その他	124	53.2	4.0	17.7	11.3	0.8	4.8	8.1
	無回答	8	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-

(4). 家族の支援体制・支援内容



家族の支援体制としては「定期的な支援（3ヶ月に1回以上）」（51.4%）が過半数で最も多く、次いで「稀な支援（4ヶ月～3年に1回以上）」（20.8%）、「なし（「緊急時のみ連絡」も含む）」（18.5%）、「身寄りなし」（5.8%）となっている。

また、支援の内容としては、「本人との面会」（82.9%）が8割を超えて最も多く、次いで「必要物品の持参」（53.3%）、「経済的支援」（44.1%）、「本人と電話で通話」（40.3%）となっている。

支援体制を年齢別にみると、30歳代以下では40歳代以上に比べて「定期的な支援」の割合が8割前後と高い。

世帯状況別にみると、一人暮らしでは他に比べて「定期的な支援」（35.1%）の割合が顕著に低く、「なし」（28.3%）が3割弱、「身寄りなし」（10.5%）も1割となっている。

主な診断名（集約）別にみると、気分（感情）障害や認知症では「定期的な支援」の割合が6割を超えて高い。

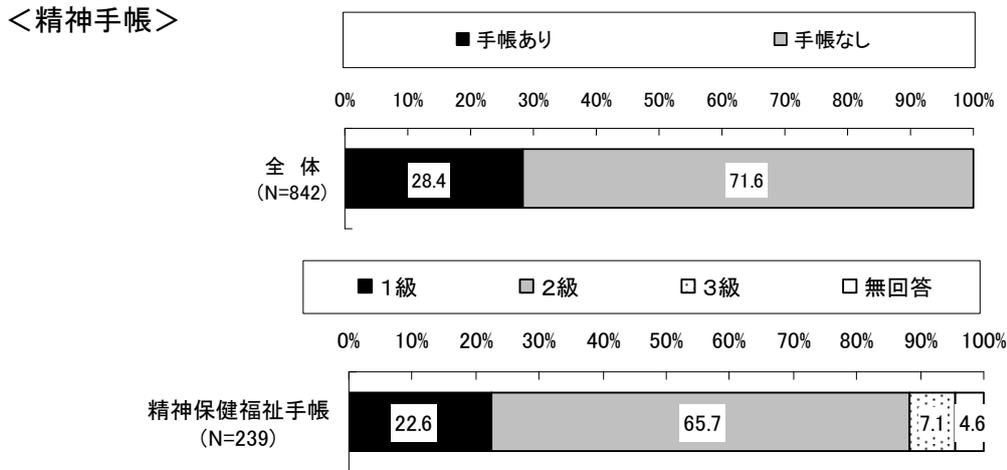
入院期間別にみると、概ね入院期間が長い人ほど「定期的な支援」の割合が低くなっており、「稀な支援」と「なし」の割合が高い。

【図表7-12 年齢別、世帯状況別、主な診断名（集約）別、入院期間別
 家族の支援体制、家族支援の内容】（%）

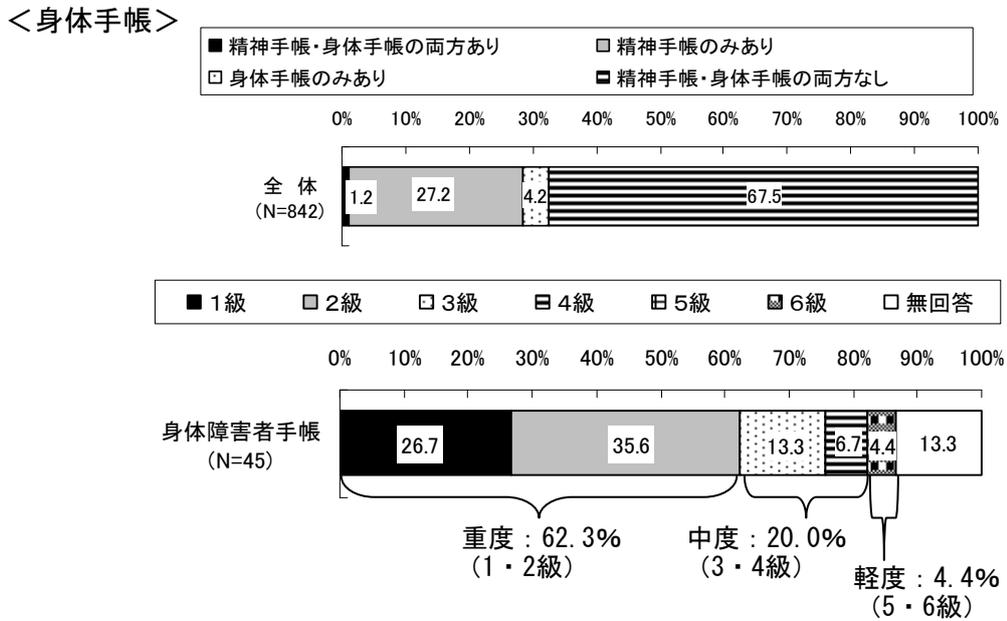
	調査数（人）	家族の支援体制					調査数（人）	家族支援の内容								
		定期的な支援	稀な支援	なし	身寄りなし	無回答		本人との面会	必要物品の持参	経済的支援	本人と電話で通話	衣類の取り替え	スタツフに電話での問い合わせ	各種イベントの参加	無回答	
全体	842	51.4	20.8	18.5	5.8	3.4	608	82.9	53.3	44.1	40.3	36.7	35.7	9.4	1.0	
年齢	20歳代以下	23	82.6	8.7	-	-	8.7	21	95.2	81.0	71.4	66.7	71.4	52.4	14.3	4.8
	30歳代	36	77.8	11.1	8.3	-	2.8	32	93.8	68.8	71.9	75.0	56.3	56.3	9.4	-
	40歳代	104	54.8	19.2	21.2	3.8	1.0	77	87.0	63.6	49.4	50.6	40.3	44.2	14.3	-
	50歳代	125	47.2	19.2	24.0	6.4	3.2	83	81.9	44.6	33.7	54.2	20.5	39.8	12.0	-
	60～64歳	126	46.0	27.8	21.4	4.0	0.8	93	83.9	51.6	45.2	33.3	33.3	34.4	10.8	1.1
	65～74歳	230	45.2	23.9	18.7	7.8	4.3	159	79.2	47.8	37.7	39.0	36.5	30.2	7.5	-
	75歳以上	195	54.9	17.9	14.9	7.2	5.1	142	80.3	52.1	43.0	20.4	36.6	28.2	5.6	2.8
無回答	3	33.3	-	66.7	-	-	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	
全体	842	51.4	20.8	18.5	5.8	3.4	608	82.9	53.3	44.1	40.3	36.7	35.7	9.4	1.0	
世帯状況	一人暮らし	459	35.1	22.7	28.3	10.5	3.5	265	77.0	38.1	27.5	34.7	21.9	29.4	5.7	1.9
	夫婦のみ	47	85.1	10.6	4.3	-	-	45	93.3	75.6	66.7	33.3	66.7	40.0	15.6	-
	二世帯同居(親と同居)	128	80.5	14.1	5.5	-	-	121	92.6	72.7	69.4	52.1	55.4	43.8	17.4	-
	二世帯同居(子と同居)	84	77.4	16.7	3.6	-	2.4	79	81.0	69.6	55.7	43.0	46.8	41.8	8.9	-
	三世帯同居	7	85.7	-	14.3	-	-	6	100.0	66.7	66.7	83.3	50.0	66.7	-	-
	その他(兄弟姉妹同居等)	65	60.0	24.6	12.3	-	3.1	55	85.5	58.2	47.3	49.1	36.4	40.0	5.5	-
無回答	52	36.5	34.6	9.6	1.9	17.3	37	78.4	27.0	18.9	24.3	21.6	24.3	10.8	2.7	
全体	842	51.4	20.8	18.5	5.8	3.4	608	82.9	53.3	44.1	40.3	36.7	35.7	9.4	1.0	
主な診断名 (集約)	統合失調症	491	47.7	24.2	20.4	4.7	3.1	353	82.7	50.1	43.3	43.1	31.7	37.1	10.2	0.6
	気分(感情)障害	62	61.3	19.4	14.5	-	4.8	50	84.0	48.0	54.0	52.0	32.0	30.0	4.0	-
	依存症	45	46.7	13.3	20.0	15.6	4.4	27	85.2	59.3	25.9	74.1	22.2	33.3	14.8	3.7
	認知症	112	68.8	11.6	7.1	8.0	4.5	90	84.4	65.6	46.7	13.3	52.2	33.3	10.0	2.2
	その他	124	47.6	19.4	22.6	7.3	3.2	83	80.7	54.2	44.6	38.6	49.4	34.9	6.0	1.2
無回答	8	50.0	12.5	25.0	12.5	-	5	80.0	60.0	40.0	60.0	20.0	60.0	20.0	-	
全体	842	51.4	20.8	18.5	5.8	3.4	608	82.9	53.3	44.1	40.3	36.7	35.7	9.4	1.0	
入院期間	1ヶ月未満	3	100.0	-	-	-	-	3	66.7	100.0	100.0	66.7	66.7	66.7	-	-
	1～3ヶ月未満	92	66.3	10.9	14.1	8.7	-	71	91.5	77.5	53.5	66.2	62.0	59.2	8.5	-
	3～6ヶ月未満	53	67.9	5.7	13.2	7.5	5.7	39	89.7	69.2	41.0	53.8	41.0	51.3	15.4	2.6
	6ヶ月～1年未満	70	62.9	11.4	20.0	2.9	2.9	52	90.4	67.3	40.4	36.5	36.5	26.9	7.7	1.9
	1～3年未満	180	56.7	19.4	15.0	5.0	3.9	137	83.2	46.7	46.0	32.8	33.6	34.3	10.9	-
	3～5年未満	105	48.6	23.8	15.2	8.6	3.8	76	75.0	42.1	44.7	39.5	31.6	28.9	6.6	1.3
	5～10年未満	131	47.3	24.4	19.1	6.9	2.3	94	83.0	50.0	39.4	31.9	28.7	24.5	5.3	-
	10年以上	172	33.7	32.0	27.3	2.9	4.1	113	76.1	42.5	39.8	37.2	30.1	36.3	13.3	2.7
無回答	36	44.4	19.4	19.4	8.3	8.3	23	87.0	56.5	47.8	39.1	47.8	26.1	4.3	-	

(5). 手帳の状況

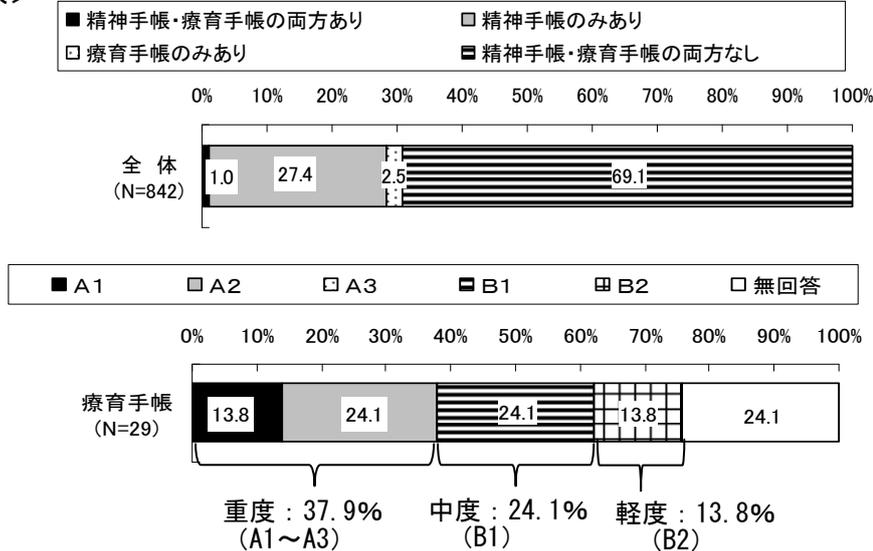
【図表7-13 精神保健福祉手帳の所持状況、等級】



【図表7-14 他の障害者手帳との重複所持状況、等級・判定】



＜療育手帳＞



第7章 精神障がい者調査（入院患者調査：二次調査結果）

手帳の所持状況としては、精神障害者保健福祉手帳（以下、精神保健福祉手帳とする）の所持者が3割弱（28.4%）で最も多く、身体障害者手帳所持者（5.3%）と療育手帳所持者（3.4%）はいずれも1割未満である。

精神保健福祉手帳の等級では「2級」（65.7%）が最も多く、次いで「1級」（22.6%）、「3級」（7.1%）となっている。

身体障害者手帳の等級では、「2級」（35.6%）が最も多く、次いで「1級」（26.7%）となっており、これらをあわせた重度者が6割強（62.3%）となっている。また、「3級」は13.3%、「4級」は6.7%、「6級」は4.4%であり、「5級」の所持者はいなかった。

療育手帳の判定では、「A2」、「B1」（それぞれ24.1%）が多く、次いで「A1」（13.8%）となっている。「A3」はいなかったが、A1～A3をあわせた重度者が4割弱（37.9%）である。また、「B2」の軽度者が13.8%である。

手帳の所持状況を年齢別にみると、精神保健福祉手帳については30～50歳代で所持者の割合が高く、4割を超えている。身体障害者手帳と療育手帳については、いずれの年代でも所持者の割合は1割に満たない。

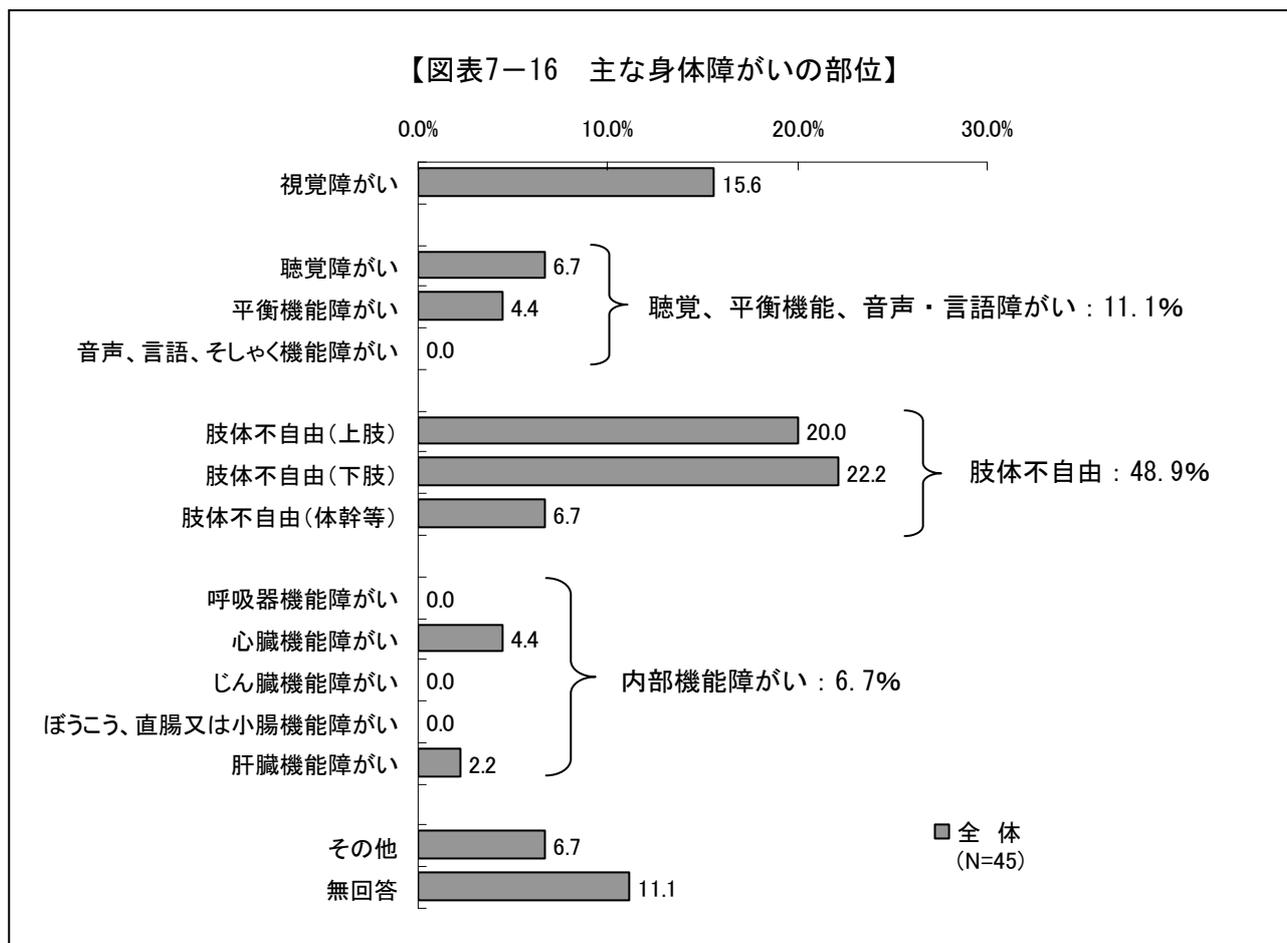
主な診断名（詳細）別にみると、統合失調症では精神保健福祉手帳の所持者が4割弱（37.5%）と他に比べて高い。また、てんかん（33.3%）や双極性感情障害（29.2%）でも3割前後を占めている。

精神保健福祉手帳等級を年齢別にみると、30歳代～64歳では他の年代に比べて「2級」（中度）の割合が高く、6～8割台となっている。また、65歳以上の高齢者では64歳以下に比べて「1級」（重度）の割合が高く、65～74歳では32.4%、75歳以上では52.6%である。

【図表7-15 年齢別、主な診断名（詳細）別 手帳の所持状況、精神保健福祉手帳の等級】（%）

	調査数（人）	手帳の所持状況				調査数（人）	精神保健福祉手帳の等級				
		精神保健福祉手帳	身体障害者手帳	療育手帳	手帳なし		1級	2級	3級	無回答	
全体	842	28.4	5.3	3.4	65.3	239	22.6	65.7	7.1	4.6	
年齢	20歳代以下	23	39.1	8.7	8.7	52.2	9	22.2	44.4	11.1	22.2
	30歳代	36	47.2	2.8	2.8	47.2	17	11.8	88.2	-	-
	40歳代	104	40.4	4.8	4.8	55.8	42	21.4	64.3	7.1	7.1
	50歳代	125	41.6	2.4	5.6	52.8	52	9.6	76.9	5.8	7.7
	60～64歳	126	25.4	6.3	5.6	65.1	32	12.5	81.3	6.3	-
	65～74歳	230	29.6	5.7	2.6	64.3	68	32.4	54.4	10.3	2.9
	75歳以上	195	9.7	6.7	0.5	84.1	19	52.6	42.1	5.3	-
	無回答	3	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
全体	842	28.4	5.3	3.4	65.3	239	22.6	65.7	7.1	4.6	
主な診断名（詳細）	統合失調症	491	37.5	3.5	2.4	59.1	184	20.1	72.3	3.3	4.3
	非定型精神病	11	27.3	18.2	-	63.6	3	-	100.0	-	-
	うつ病	38	15.8	2.6	-	81.6	6	-	50.0	50.0	-
	双極性感情障害	24	29.2	4.2	-	66.7	7	-	57.1	28.6	14.3
	てんかん	15	33.3	-	26.7	46.7	5	60.0	40.0	-	-
	精神遅滞	22	18.2	22.7	54.5	22.7	4	-	25.0	25.0	50.0
	アルコール依存症	41	12.2	2.4	-	85.4	5	20.0	40.0	40.0	-
	その他の薬物依存症	4	25.0	-	-	75.0	1	100.0	-	-	-
	パーソナリティ障害	3	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	認知症	112	6.3	8.9	-	85.7	7	57.1	42.9	-	-
	高次脳機能障害	5	20.0	-	-	80.0	1	100.0	-	-	-
	その他の老年精神障害	15	6.7	20.0	-	73.3	1	100.0	-	-	-
	その他	53	24.5	9.4	1.9	67.9	13	46.2	30.8	23.1	-
	診断保留	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	8	25.0	-	-	75.0	2	-	100.0	-	-

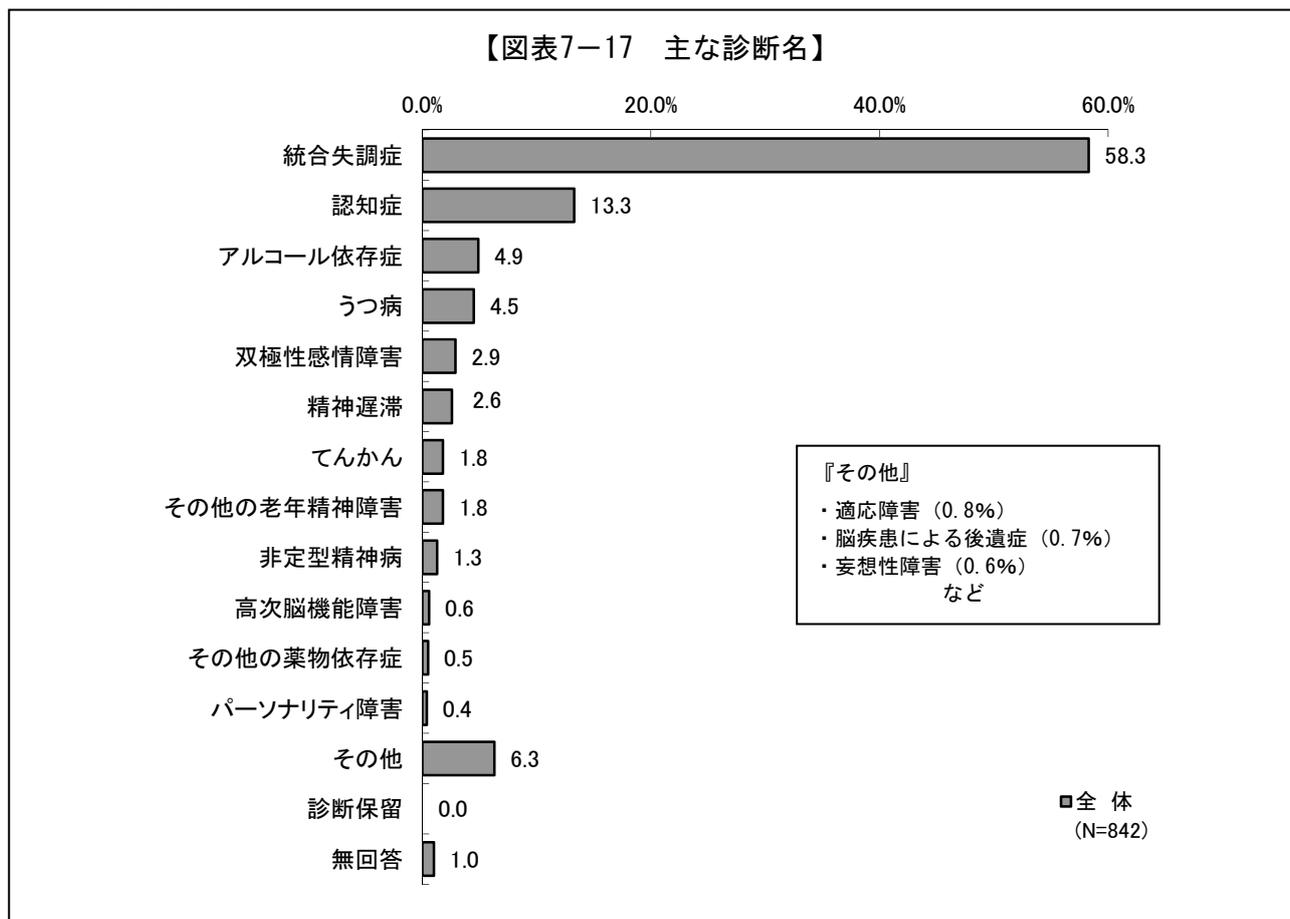
(6). 主な身体障がいの部位



身体障害者手帳所持者の主な身体障がいの部位（大分類）では、「肢体不自由」（48.9%）が半数弱を占めて最も多く、次いで「視覚障がい」（15.6%）となっている。

2. 患者の疾患や入院状況

(1). 主な診断名



主な診断名は、「統合失調症」（58.3%）が6割弱を占めて最も多く、次いで「認知症」（13.3%）となっている。また、「アルコール依存症」が4.9%、「うつ病」が4.5%であった。

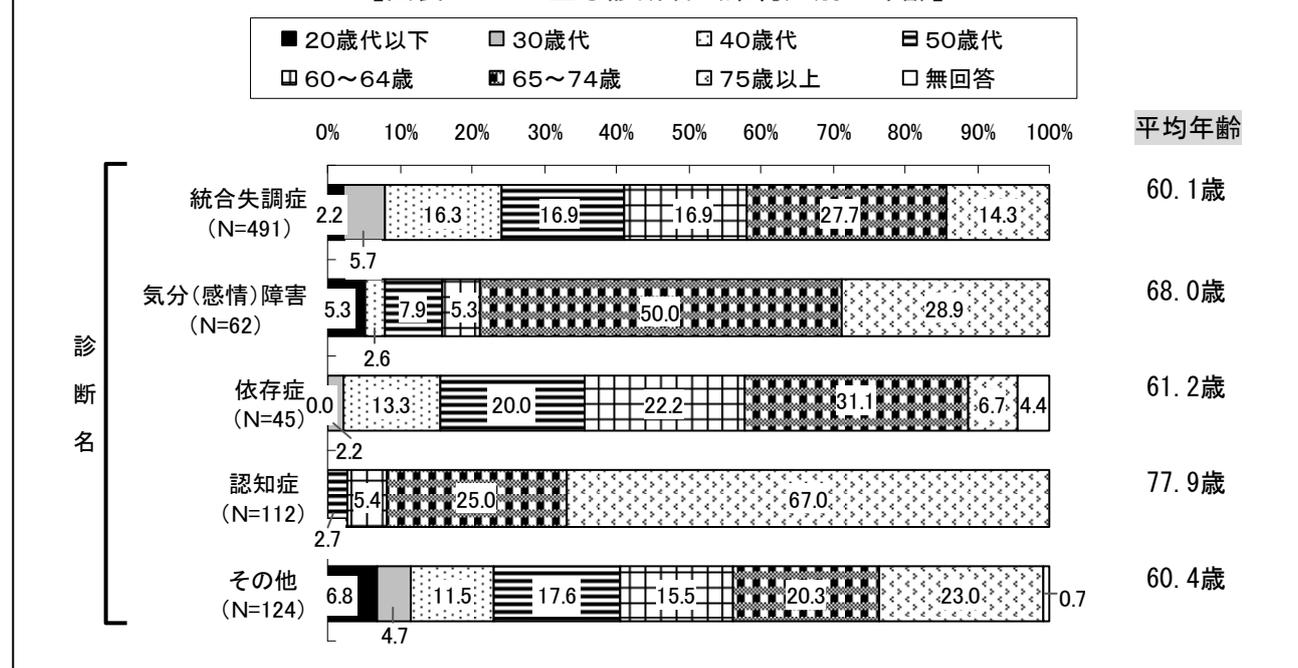
性別にみると、男女とも「統合失調症」が過半数を占めて最も多い。また、男性は女性に比べて「アルコール依存症」（7.9%）の割合が高く、女性は男性に比べて「うつ病」（7.3%）の割合が高い。

年齢別にみると、「統合失調症」は30～40歳代で8割弱、50歳代と60歳代前半で7割弱と高くなっている。また、75歳以上では「認知症」（38.5%）の割合が他の年代と比べて顕著に高く、4割弱となっている。

【図表7-18 性別、年齢別 主な診断名】（%）

	調査数（人）	主な診断名															
		統合失調症	認知症	アルコール依存症	うつ病	双極性感情障害	精神遅滞	てんかん	その他の老年精神障害	非定型精神病	高次脳機能障害	その他の薬物依存症	パーソナリティ障害	その他	診断保留	無回答	
全体	842	58.3	13.3	4.9	4.5	2.9	2.6	1.8	1.8	1.3	0.6	0.5	0.4	6.3	-	1.0	
性別	男性	419	58.0	11.9	7.9	1.7	2.1	2.6	2.6	1.4	0.7	0.7	0.7	7.6	-	1.2	
	女性	423	58.6	14.7	1.9	7.3	3.5	2.6	0.9	2.1	1.9	0.5	0.2	-	5.0	-	0.7
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	842	58.3	13.3	4.9	4.5	2.9	2.6	1.8	1.8	1.3	0.6	0.5	0.4	6.3	-	1.0	
年齢	20歳代以下	23	47.8	-	-	8.7	4.3	13.0	-	-	-	-	-	26.1	-	-	
	30歳代	36	77.8	-	2.8	-	-	8.3	2.8	-	-	-	-	8.3	-	-	
	40歳代	104	76.9	-	4.8	1.0	4.8	1.0	-	-	2.9	-	1.0	7.7	-	-	
	50歳代	125	66.4	2.4	6.4	2.4	6.4	3.2	3.2	-	2.4	0.8	0.8	1.6	3.2	-	0.8
	60～64歳	126	65.9	4.8	7.9	1.6	1.6	4.8	1.6	0.8	1.6	0.8	-	0.8	6.3	-	1.6
	65～74歳	230	59.1	12.2	5.7	8.3	1.3	1.7	2.2	0.9	0.9	0.4	0.4	-	5.7	-	1.3
	75歳以上	195	35.9	38.5	1.5	5.6	2.6	0.5	1.5	6.2	0.5	0.5	-	-	5.6	-	1.0
	無回答	3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-

【図表7-19 主な診断名（集約）別 年齢】



主な診断名（集約）別に年齢をみると、気分（感情）障害では他に比べて「65～74歳」（50.0%）の割合が高く、半数を占めている。また、認知症は「75歳以上」（67.0%）が7割弱を占めている。

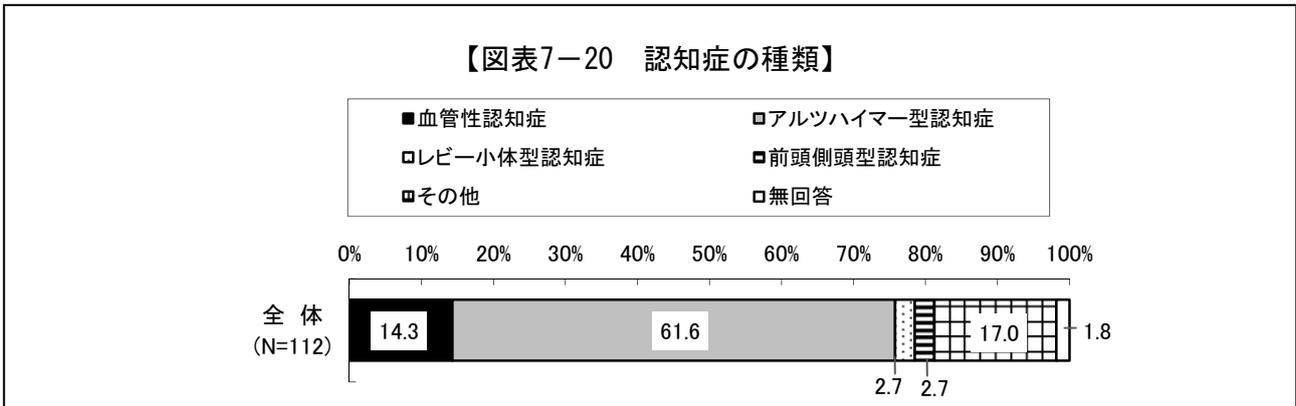
＜図表中の診断名（集約）の表記＞

以降の図表中の診断（疾患）名は、原則として、以下の区分・内容により表記している。

区分	具体的な診断（疾患）の内容
統合失調症	統合失調症
気分（感情）障害	うつ病、双極性感情障害
依存症	アルコール依存症、その他の薬物依存症
認知症	認知症
その他	非定型精神病、てんかん、精神遅滞、パーソナリティ障害、高次脳機能障害、その他の老年精神障害、その他、診断保留

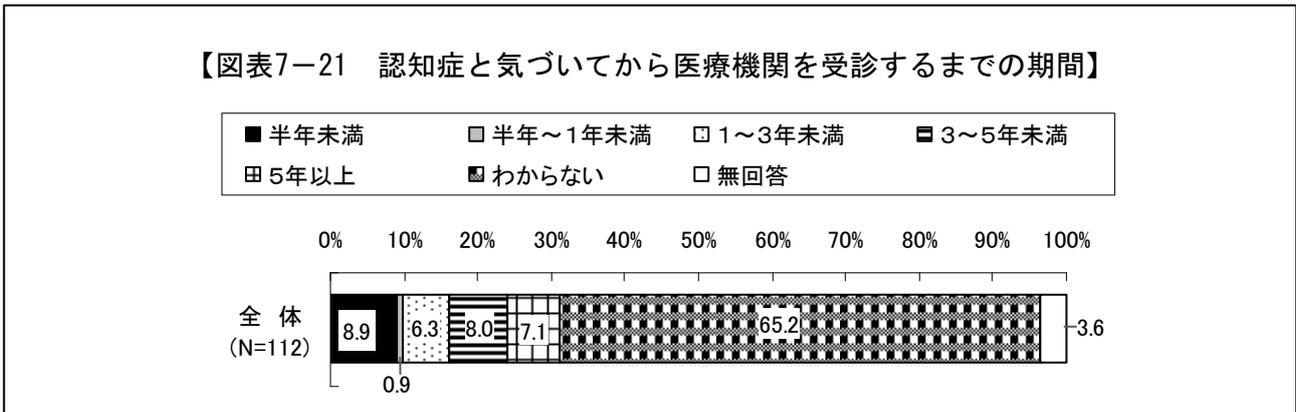
(2). 認知症の入院患者の状況

①認知症の種類



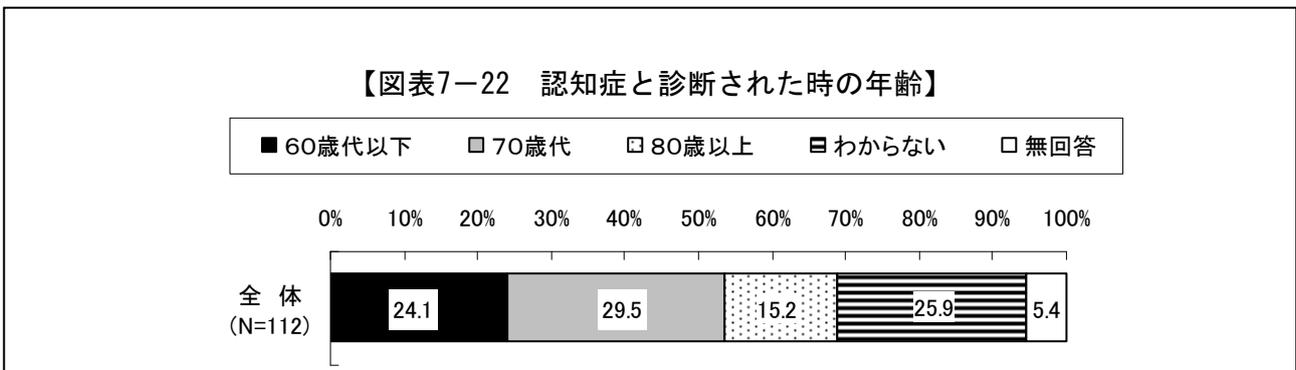
認知症の種類では「アルツハイマー型認知症」(61.6%)が最も多い。

②認知症と気づいてから医療機関を受診するまでの期間



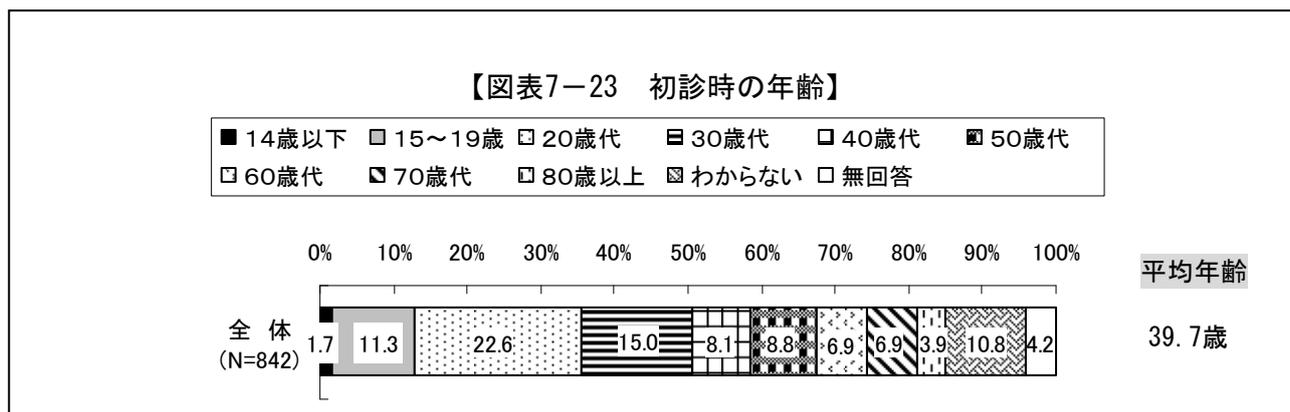
認知症と気づいてから医療機関を受診するまでの期間としては、「半年未満」(8.9%)、「3～5年未満」(8.0%)、「5年以上」(7.1%)の順となっている。また、「わからない」(65.2%)が6割強であった。

③認知症と診断された時の年齢



認知症と診断された時の年齢は、「70歳代」(29.5%)が最も多く、次いで「60歳代以下」(24.1%)、「80歳以上」(15.2%)となっている。また、「わからない」(25.9%)が2割を超えている。

(3). 初診時の年齢



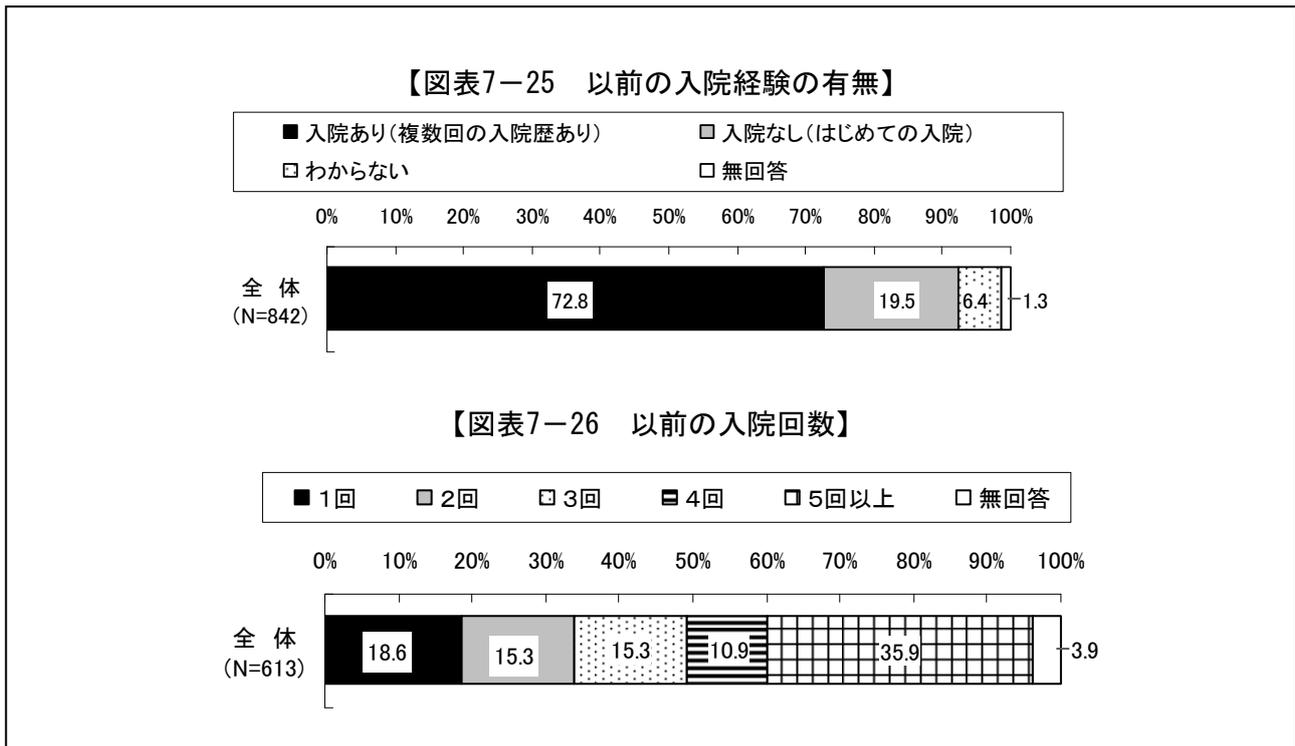
初めて精神科・神経科を受診した時の年齢は、「20歳代」(22.6%)が最も多く、次いで「30歳代」(15.0%)、「15~19歳」(11.3%)、「50歳代」(8.8%)となっており、平均年齢は39.7歳である。

主な診断名（詳細）別にみると、アルコール依存症の人は「50歳代」(31.7%)で最も高く、統合失調症の人は「20歳代」(32.0%)、双極性感情障害の人は20~30歳代で3割前後と高くなっている。

【図表7-24 主な診断名（詳細）別 初診時の年齢】 (%)

	調査数 (人)	初診時の年齢											平均年齢 (歳)	
		14歳以下	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答		
全体	842	1.7	11.3	22.6	15.0	8.1	8.8	6.9	6.9	3.9	10.8	4.2	39.7	
主な診断名 (詳細)	統合失調症	491	1.4	16.5	32.0	18.7	7.9	5.5	2.0	0.2	0.2	10.2	5.3	29.5
	非定型精神病	11	-	18.2	9.1	27.3	9.1	9.1	-	-	-	18.2	9.1	32.0
	うつ病	38	-	-	10.5	-	18.4	18.4	23.7	18.4	2.6	5.3	2.6	55.9
	双極性感情障害	24	-	-	29.2	33.3	8.3	8.3	4.2	-	-	16.7	-	35.6
	てんかん	15	20.0	6.7	13.3	6.7	6.7	6.7	-	-	-	33.3	6.7	27.3
	精神遅滞	22	9.1	22.7	22.7	9.1	4.5	-	9.1	-	-	18.2	4.5	26.5
	アルコール依存症	41	-	-	12.2	22.0	12.2	31.7	9.8	-	4.9	7.3	-	47.5
	その他の薬物依存症	4	-	-	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0	38.0
	パーソナリティ障害	3	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	45.7
	認知症	112	-	-	0.9	0.9	4.5	6.3	20.5	35.7	18.8	11.6	0.9	70.9
	高次脳機能障害	5	-	-	-	20.0	20.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	49.8
	その他の老年精神障害	15	-	-	-	-	-	13.3	20.0	26.7	26.7	6.7	6.7	71.3
	その他	53	3.8	11.3	13.2	13.2	5.7	17.0	9.4	5.7	7.5	11.3	1.9	44.3
	診断保留	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	8	-	-	-	12.5	12.5	25.0	12.5	25.0	-	-	12.5	57.1	

(4). 以前の入院経験の有無と入院回数



以前の精神科病院への入院経験の有無は、「入院あり（複数回の入院歴あり）」（72.8%）が7割強を占めている。

入院経験がある患者に対して、過去の入院回数をたずねたところ、「5回以上」（35.9%）が最も多く、次いで「1回」（18.6%）、「2回」と「3回」（それぞれ15.3%）となっている。また、平均回数は4.9回である。

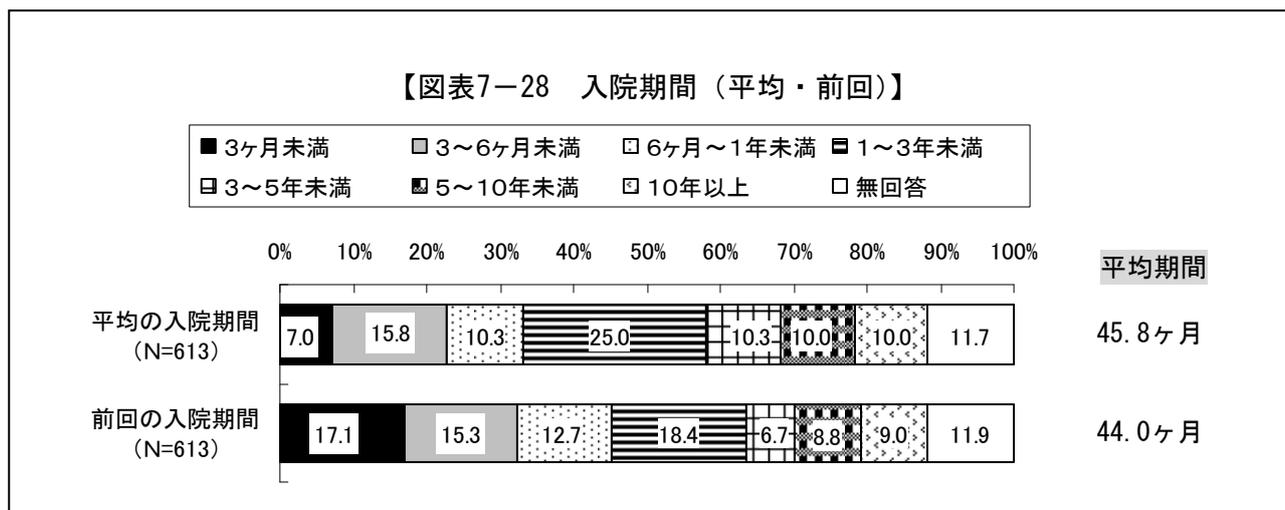
入院経験の有無を主な診断名（詳細）別にみると、入院経験のある人の割合は、双極性感情障害（91.7%）や統合失調症（81.1%）で特に高く、8割～9割程度を占めている。

平均の入院回数について主な診断名（詳細）別にみると、非定型精神病で10.4回と最も多く、次いで双極性感情障害の7.9回となっている。

【図表7-27 主な診断名（詳細）別 以前の入院経験の有無】 (%)

	調査数（人）	以前の入院経験の有無				以前の入院回数						平均回数（回）	
		の入院あり（複数回）	て入院なし（はじめ）	わからない	無回答	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答		
全体	842	72.8	19.5	6.4	1.3	18.6	15.3	15.3	10.9	35.9	3.9	4.9	
主な診断名（詳細）	統合失調症	491	81.1	10.6	6.9	1.4	14.1	15.8	14.3	11.8	40.2	3.8	5.1
	非定型精神病	11	72.7	18.2	9.1	-	12.5	-	12.5	12.5	62.5	-	10.4
	うつ病	38	73.7	21.1	5.3	-	17.9	17.9	32.1	7.1	14.3	10.7	4.3
	双極性感情障害	24	91.7	4.2	4.2	-	18.2	13.6	4.5	13.6	40.9	9.1	7.9
	てんかん	15	46.7	40.0	13.3	-	14.3	-	14.3	-	57.1	14.3	5.3
	精神遅滞	22	59.1	36.4	4.5	-	15.4	-	46.2	-	30.8	7.7	3.9
	アルコール依存症	41	75.6	19.5	4.9	-	19.4	16.1	16.1	16.1	29.0	3.2	5.8
	その他の薬物依存症	4	50.0	25.0	-	25.0	50.0	-	-	-	50.0	-	3.0
	パーソナリティ障害	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	100.0	-	5.0
	認知症	112	45.5	45.5	7.1	1.8	51.0	21.6	7.8	5.9	11.8	2.0	2.3
	高次脳機能障害	5	40.0	40.0	20.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-	4.5
	その他の老年精神障害	15	46.7	53.3	-	-	42.9	-	28.6	14.3	14.3	-	3.0
	その他	53	71.7	26.4	1.9	-	15.8	15.8	18.4	13.2	36.8	-	4.0
	診断保留	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	8	62.5	25.0	-	12.5	60.0	20.0	-	-	20.0	-	3.4	

(5). 入院期間（平均・前回）



以前に精神科病院への入院経験がある患者に対して、平均と前回の入院期間をたずねたところ、平均入院期間は、「1～3年未満」（25.0%）、「3～6ヶ月未満」（15.8%）、「6ヶ月～1年未満」と「3～5年未満」（それぞれ10.3%）の順となっている。

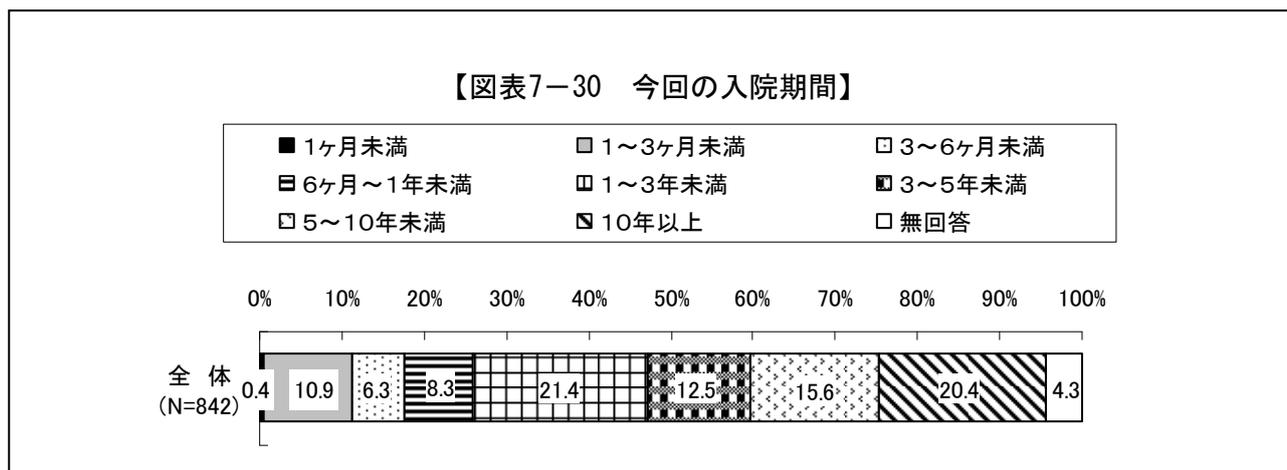
前回の入院期間は、「1～3年未満」（18.4%）、「3ヶ月未満」（17.1%）、「3～6ヶ月未満」（15.3%）の順となっている。

主な診断名（集約）別にみると、平均入院期間について、統合失調症では「1～3年未満」（25.6%）が2割強で多く、気分（感情）障害や依存症では「3～6ヶ月未満」が約3割で最も多くなっている。また、認知症では「3～6ヶ月未満」（25.5%）と「3ヶ月未満」（21.6%）をあわせると、半数弱の人が平均入院期間が6ヶ月未満である。

【図表7-29 年齢別・主な診断名（集約）別 平均の入院期間】（%）

	調査数（人）	平均の入院期間								
		3ヶ月未満	3～6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	無回答	
全体	613	7.0	15.8	10.3	25.0	10.3	10.0	10.0	11.7	
年齢	20歳代以下	15	26.7	6.7	20.0	46.7	-	-	-	-
	30歳代	28	14.3	25.0	14.3	35.7	-	3.6	-	7.1
	40歳代	79	7.6	25.3	16.5	26.6	7.6	10.1	2.5	3.8
	50歳代	98	6.1	15.3	12.2	26.5	11.2	11.2	6.1	11.2
	60～64歳	101	5.0	12.9	8.9	25.7	10.9	11.9	11.9	12.9
	65～74歳	173	6.4	12.7	8.1	23.7	11.0	11.0	11.6	15.6
	75歳以上	118	5.9	16.1	6.8	17.8	13.6	8.5	17.8	13.6
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-
全体	613	7.0	15.8	10.3	25.0	10.3	10.0	10.0	11.7	
主な診断名（集約）	統合失調症	398	4.0	10.6	10.1	25.6	12.1	11.1	13.6	13.1
	気分（感情）障害	50	14.0	30.0	14.0	24.0	4.0	6.0	4.0	4.0
	依存症	33	6.1	33.3	18.2	12.1	12.1	6.1	-	12.1
	認知症	51	21.6	25.5	13.7	19.6	2.0	2.0	-	15.7
	その他	76	9.2	17.1	3.9	31.6	10.5	14.5	5.3	7.9
	無回答	5	-	60.0	-	20.0	-	-	20.0	-

(6). 今回の入院期間



回答者全員の今回の入院期間は、「1~3年未満」(21.4%)、「10年以上」(20.4%)、「5~10年未満」(15.6%)の順で多くなっている。

年齢別にみると、総じて20歳代以下と30歳代の若年者よりも、40歳代以上で入院期間が長い傾向が見られる。

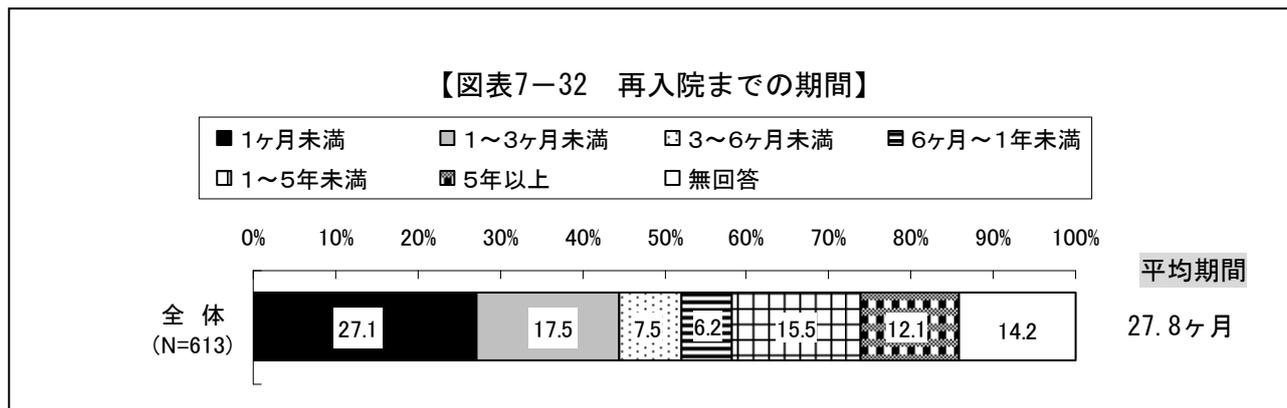
主な診断名(集約)別にみると、統合失調症では「10年以上」(29.1%)の割合が高い。

現在の病状の程度別にみると、近く退院予定の人では「1~3ヶ月未満」(38.7%)の割合が高く、「3~6ヶ月未満」(16.0%)とあわせると過半数(54.7%)となっている。一方、支援がないため退院できない人では「1~3年未満」(25.7%)、医学的に退院困難の人では「10年以上」(25.7%)の割合がそれぞれ3割弱と高くなっている。

【図表7-31 年齢別・主な診断名(集約)別・現在の病状の程度別 今回の入院期間】(%)

	調査数(人)	今回の入院期間									
		1ヶ月未満	1~3ヶ月未満	3~6ヶ月未満	6ヶ月~1年未満	1~3年未満	3~5年未満	5~10年未満	10年以上	無回答	
全体	842	0.4	10.9	6.3	8.3	21.4	12.5	15.6	20.4	4.3	
年齢	20歳代以下	23	-	34.8	8.7	13.0	26.1	8.7	-	-	8.7
	30歳代	36	5.6	13.9	8.3	19.4	13.9	22.2	8.3	5.6	2.8
	40歳代	104	-	17.3	8.7	2.9	18.3	9.6	21.2	17.3	4.8
	50歳代	125	-	12.8	4.8	9.6	24.0	12.0	12.0	20.0	4.8
	60~64歳	126	-	4.8	5.6	4.0	19.8	11.1	18.3	32.5	4.0
	65~74歳	230	-	10.4	3.9	7.4	20.0	12.2	16.1	26.1	3.9
	75歳以上	195	0.5	7.7	8.2	11.8	24.6	13.8	15.9	13.3	4.1
	無回答	3	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-
全体	842	0.4	10.9	6.3	8.3	21.4	12.5	15.6	20.4	4.3	
主な診断名(集約)	統合失調症	491	0.4	7.9	3.9	5.1	19.6	13.0	16.3	29.1	4.7
	気分(感情)障害	62	-	22.6	14.5	8.1	16.1	6.5	19.4	9.7	3.2
	依存症	45	-	24.4	17.8	4.4	13.3	13.3	20.0	2.2	4.4
	認知症	112	0.9	9.8	8.0	20.5	36.6	8.0	7.1	2.7	6.3
	その他	124	-	13.7	5.6	12.1	18.5	16.9	16.9	14.5	1.6
	無回答	8	-	-	12.5	-	50.0	12.5	12.5	12.5	-
全体	842	0.4	10.9	6.3	8.3	21.4	12.5	15.6	20.4	4.3	
現在の病状の程度	近く退院予定	106	1.9	38.7	16.0	13.2	16.0	2.8	3.8	0.9	6.6
	支援がないため退院できない	249	0.4	6.4	4.4	11.2	25.7	13.3	16.5	19.7	2.4
	医学的に退院困難	448	-	7.4	5.4	5.6	18.8	14.3	18.1	25.7	4.9
	無回答	39	-	5.1	2.6	7.7	38.5	12.8	12.8	17.9	2.6

(7). 再入院までの期間



以前に精神科病院への入院経験がある人の前回退院年月・今回入院年月から、退院から再入院までの期間を算出すると、「1ヶ月未満」(27.1%)が最も多く、次いで「1~3ヶ月未満」(17.5%)となっており、これらをあわせると全体の4割強(44.6%)が3ヶ月未満で再入院している。

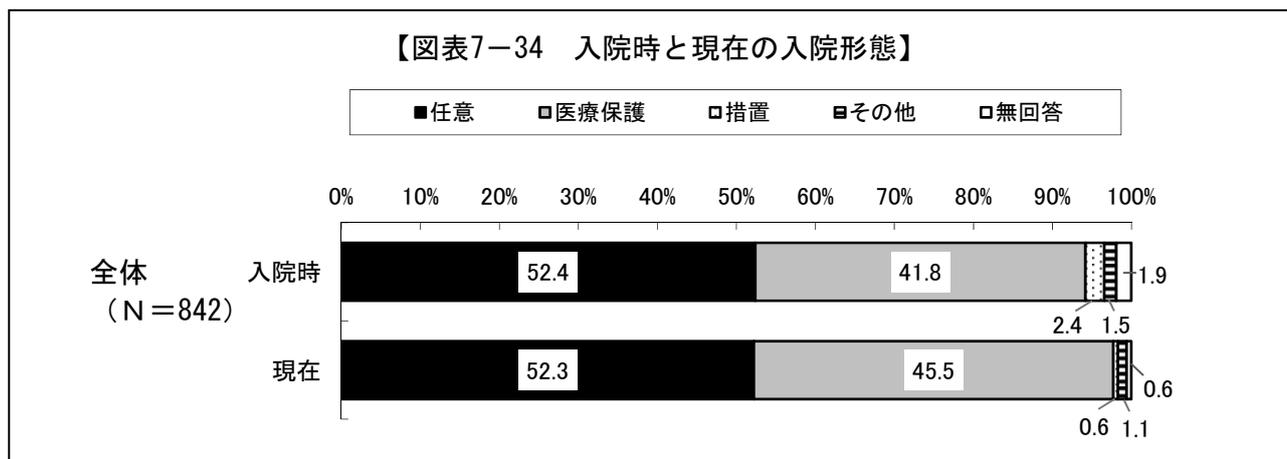
年齢別にみると、20歳代以下では、「3~6ヶ月未満」(33.3%)の割合が高く、30歳代では「1~5年未満」(25.0%)、40歳代では、「5年以上」(21.5%)、50歳代では「1ヶ月未満」「1~5年未満」(それぞれ24.5%)の割合が高くなっている。また、60歳以上では「1ヶ月未満」の割合が2~3割と高く、再入院までの期間が短い傾向が見られる。

主な診断名(集約)別にみると、統合失調症でも「1ヶ月未満」(26.6%)が最も多いものの、「5年以上」(14.8%)が1割を超えているなど、他に比べて再入院までの期間が長い人の割合が高い。

【図表7-33 年齢別・主な診断名(集約)別 再入院までの期間】(%)

	調査数(人)	再入院までの期間							平均期間(ヶ月)	
		1ヶ月未満	1~3ヶ月未満	3~6ヶ月未満	6ヶ月~1年未満	1~5年未満	5年以上	無回答		
全体	613	27.1	17.5	7.5	6.2	15.5	12.1	14.2	27.8	
年齢	20歳代以下	15	33.3	6.7	33.3	20.0	-	-	6.7	3.1
	30歳代	28	3.6	21.4	17.9	10.7	25.0	10.7	10.7	28.4
	40歳代	79	17.7	7.6	6.3	8.9	19.0	21.5	19.0	46.6
	50歳代	98	24.5	11.2	8.2	6.1	24.5	11.2	14.3	32.8
	60~64歳	101	30.7	18.8	6.9	3.0	7.9	17.8	14.9	39.0
	65~74歳	173	33.5	19.7	5.8	6.9	15.0	6.4	12.7	15.5
	75歳以上	118	28.0	25.4	5.1	2.5	12.7	11.9	14.4	24.2
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-	6.0
全体	613	27.1	17.5	7.5	6.2	15.5	12.1	14.2	27.8	
主な診断名(集約)	統合失調症	398	26.6	16.1	7.3	5.3	16.1	14.8	13.8	33.5
	気分(感情)障害	50	30.0	14.0	14.0	14.0	10.0	6.0	12.0	4.9
	依存症	33	27.3	21.2	6.1	15.2	15.2	6.1	9.1	14.2
	認知症	51	27.5	23.5	5.9	-	15.7	7.8	19.6	19.0
	その他	76	26.3	22.4	5.3	6.6	15.8	6.6	17.1	19.5
	無回答	5	40.0	-	20.0	-	20.0	20.0	-	33.0

(8). 入院時と現在の入院形態



入院時と現在の入院形態では、入院時は「任意」(52.4%)、「医療保護」(41.8%)、「措置」(2.4%)の順である。また、現在も「任意」(52.3%)、「医療保護」(45.5%)、「措置」(0.6%)とほぼ同様の傾向を示している。

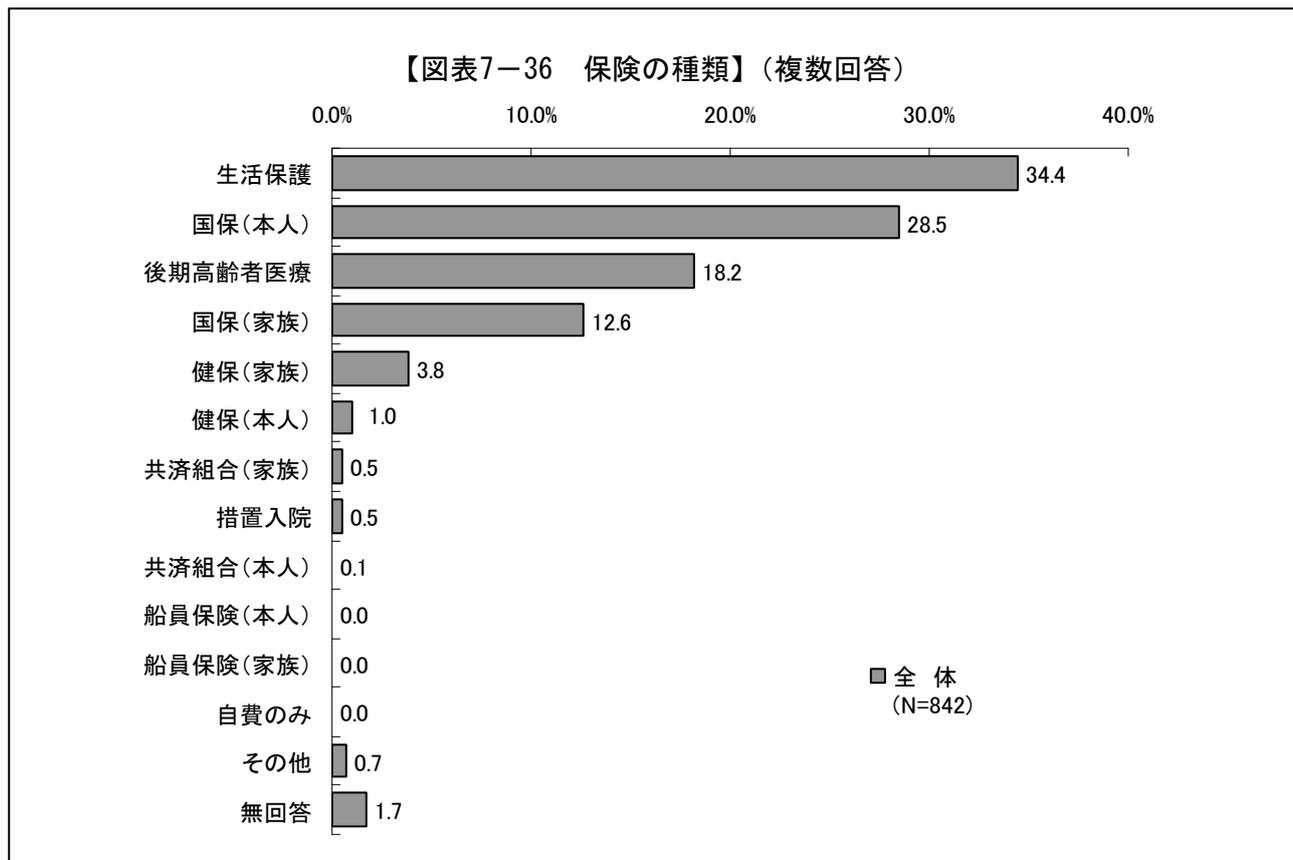
年齢別にみると、20歳代以下や30歳代といった若年層では、入院時も現在も「医療保護」の割合が過半数を超えて高く、特に30歳代では7割弱（入院時、現在ともに66.7%）を占めている。一方、50歳代～74歳では入院時も現在も「任意」が多い傾向にあり、特に65～74歳では6割強（入院時：61.3%、現在：63.9%）と高くなっている。

主な診断名（詳細）別にみると、うつ病やアルコール依存症では、入院時も現在も「任意」の割合が8割前後と他に比べて高く、それに加えて高次脳機能障害でも人数は5人と少ないが「任意」の割合が100.0%となっている。また、非定型精神病では「任意」の割合が入院時には54.5%であったが、現在では72.7%にまで伸びている。

【図表7-35 年齢別、主な診断名（詳細）別 入院時と現在の入院形態】(%)

	調査数(人)	入院時の入院形態					調査数(人)	現在の入院形態					
		任意	医療保護	措置	その他	無回答		任意	医療保護	措置	その他	無回答	
全体	842	52.4	41.8	2.4	1.5	1.9	842	52.3	45.5	0.6	1.1	0.6	
年齢	20歳代以下	23	30.4	56.5	8.7	-	4.3	23	34.8	52.2	-	8.7	4.3
	30歳代	36	22.2	66.7	2.8	2.8	5.6	36	30.6	66.7	2.8	-	-
	40歳代	104	47.1	45.2	4.8	1.0	1.9	104	49.0	50.0	1.0	-	-
	50歳代	125	56.0	36.8	3.2	1.6	2.4	125	57.6	40.8	0.8	-	0.8
	60～64歳	126	58.7	38.1	2.4	-	0.8	126	47.6	50.8	-	0.8	0.8
	65～74歳	230	61.3	33.0	1.3	2.2	2.2	230	63.9	34.3	0.4	0.9	0.4
	75歳以上	195	46.7	49.2	1.0	2.1	1.0	195	46.2	51.8	0.5	1.0	0.5
	無回答	3	33.3	66.7	-	-	-	3	33.3	-	-	66.7	-
全体	842	52.4	41.8	2.4	1.5	1.9	842	52.3	45.5	0.6	1.1	0.6	
主な診断名(詳細)	統合失調症	491	52.3	40.3	3.5	2.0	1.8	491	51.7	46.4	0.8	0.6	0.4
	非定型精神病	11	54.5	45.5	-	-	-	11	72.7	27.3	-	-	-
	うつ病	38	76.3	21.1	-	-	2.6	38	73.7	26.3	-	-	-
	双極性感情障害	24	54.2	37.5	4.2	-	4.2	24	62.5	29.2	4.2	-	4.2
	てんかん	15	60.0	33.3	-	6.7	-	15	53.3	46.7	-	-	-
	精神遅滞	22	45.5	45.5	-	4.5	4.5	22	36.4	59.1	-	4.5	-
	アルコール依存症	41	80.5	19.5	-	-	-	41	85.4	12.2	-	2.4	-
	その他の薬物依存症	4	25.0	75.0	-	-	-	4	50.0	25.0	-	25.0	-
	パーソナリティ障害	3	33.3	66.7	-	-	-	3	33.3	66.7	-	-	-
	認知症	112	32.1	65.2	-	0.9	1.8	112	29.5	67.9	-	0.9	1.8
	高次脳機能障害	5	100.0	-	-	-	-	5	100.0	-	-	-	-
	その他の老年精神障害	15	46.7	46.7	-	-	6.7	15	53.3	46.7	-	-	-
	その他	53	58.5	35.8	3.8	-	1.9	53	58.5	37.7	-	3.8	-
	診断保留	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	8	37.5	62.5	-	-	-	8	50.0	50.0	-	-	-

(9). 保険の種類



入院患者の保険の種類では「生活保護」（34.4%）が最も多く、次いで「国保（本人）」（28.5%）、「後期高齢者医療」（18.2%）となっている。

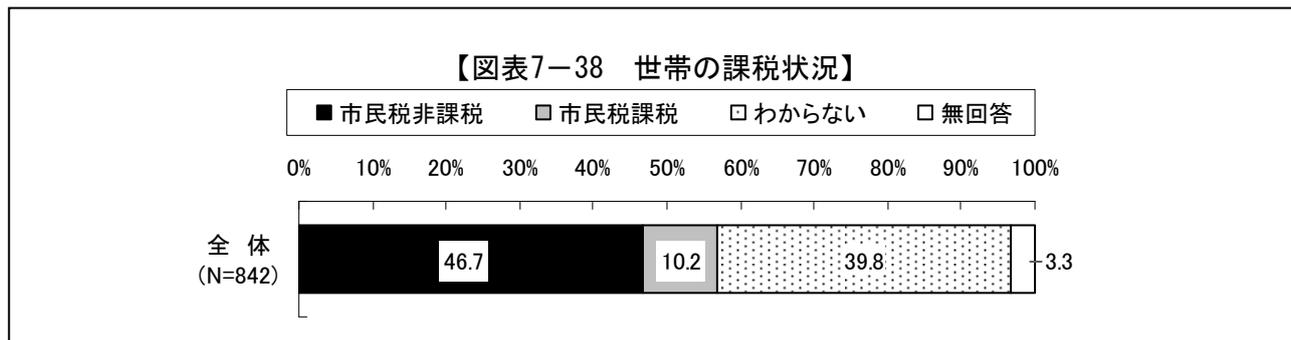
年齢別にみると、60歳代前半までは、「生活保護」が最も多いが、65～74歳では「国保（本人）」（42.6%）、75歳以上では「後期高齢者医療」（65.1%）が最も多くなっている。また、「国保（家族）」の割合は年齢が若いほど高く、40歳代以下では2割を超えている。さらに、30歳代以下では他の年代に比べて「健保（家族）」の割合が2割を超えて高い。

主な診断名（集約）別にみると、依存症では「生活保護」（62.2%）の割合が6割を超えて高く、認知症では他に比べて「後期高齢者医療」（58.0%）の割合が6割弱と、高くなっている。

【図表7-37 年齢別・主な診断名（集約）別 保険の種類】（%）

	調査数（人）	保険の種類													
		生活保護	国保（本人）	後期高齢者医療	国保（家族）	健保（家族）	健保（本人）	共済組合（家族）	措置入院	共済組合（本人）	船員保険（本人）	船員保険（家族）	自費のみ	その他	無回答
全体	842	34.4	28.5	18.2	12.6	3.8	1.0	0.5	0.5	0.1	-	-	-	0.7	1.7
年齢	20歳代以下	23	34.8	8.7	-	30.4	21.7	-	4.3	-	-	-	-	4.3	-
	30歳代	36	30.6	16.7	-	27.8	25.0	2.8	-	-	-	-	-	-	-
	40歳代	104	41.3	23.1	-	24.0	3.8	3.8	-	1.0	-	-	-	-	3.8
	50歳代	125	44.8	33.6	-	16.0	2.4	1.6	0.8	-	-	-	-	0.8	0.8
	60～64歳	126	37.3	36.5	-	16.7	6.3	0.8	0.8	0.8	0.8	-	-	-	0.8
	65～74歳	230	33.9	42.6	11.3	8.3	0.9	-	0.4	0.4	-	-	-	1.3	2.6
	75歳以上	195	23.1	10.8	65.1	2.1	0.5	-	-	0.5	-	-	-	0.5	1.0
	無回答	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全体	842	34.4	28.5	18.2	12.6	3.8	1.0	0.5	0.5	0.1	-	-	-	0.7	1.7
主な診断名（集約）	統合失調症	491	34.4	32.0	11.0	16.5	3.5	1.0	0.2	0.8	-	-	-	0.2	1.6
	気分（感情）障害	62	25.8	33.9	27.4	8.1	1.6	1.6	1.6	1.6	-	-	-	-	1.6
	依存症	45	62.2	24.4	2.2	4.4	4.4	-	-	-	-	-	-	4.4	-
	認知症	112	17.0	17.0	58.0	4.5	3.6	-	0.9	-	-	-	-	-	2.7
	その他	124	42.7	25.0	12.9	9.7	6.5	1.6	0.8	-	-	-	-	2.4	0.8
	無回答	8	62.5	12.5	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5

(10). 世帯の課税状況



世帯の課税状況では「市民税課税」(10.2%)より「市民税非課税」(46.7%)が多い。

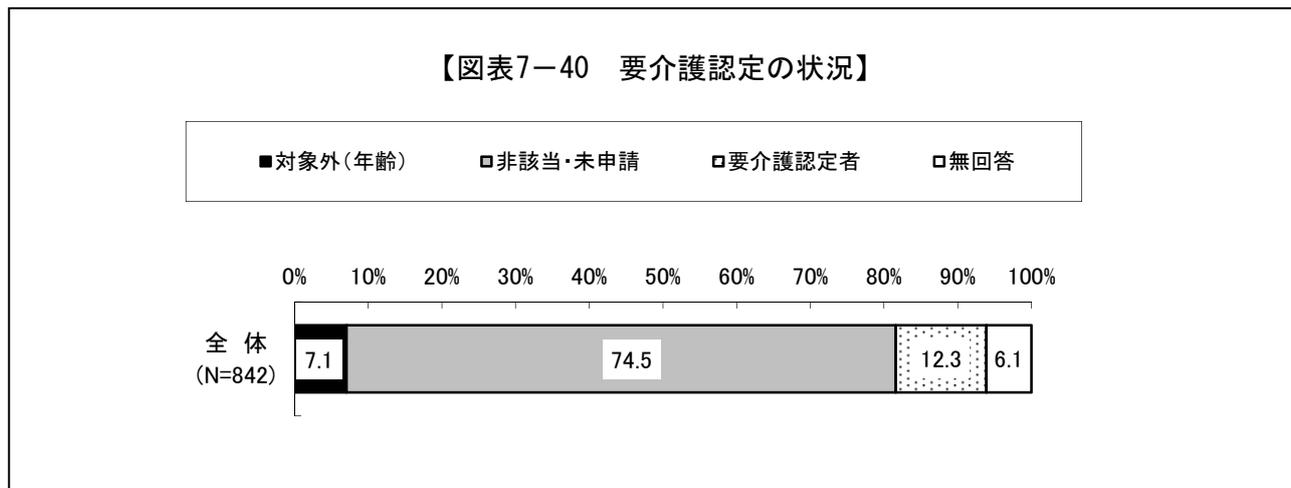
年齢別にみると、20歳代以下を除く年代で「市民税非課税」の割合が高く、4~5割となっている。また、20歳代以下では「市民税課税」(26.1%)の割合が3割弱と高い。

世帯状況別にみると、一人暮らしでは他に比べて「市民税非課税」(58.2%)の割合が高く、6割弱を占めている。

【図表7-39 年齢別、世帯状況別 世帯の課税状況】(%)

	調査数 (人)	世帯の課税状況				
		市民税非課税	市民税課税	わからない	無回答	
全体	842	46.7	10.2	39.8	3.3	
年齢	20歳代以下	23	21.7	26.1	47.8	4.3
	30歳代	36	44.4	13.9	41.7	-
	40歳代	104	48.1	8.7	41.3	1.9
	50歳代	125	51.2	6.4	38.4	4.0
	60~64歳	126	43.7	11.1	40.5	4.8
	65~74歳	230	53.5	8.7	33.9	3.9
	75歳以上	195	40.5	12.3	44.6	2.6
	無回答	3	33.3	-	66.7	-
全体	842	46.7	10.2	39.8	3.3	
世帯状況	一人暮らし	459	58.2	4.8	33.6	3.5
	夫婦のみ	47	21.3	21.3	57.4	-
	二世帯同居(親と同居)	128	32.0	18.8	48.4	0.8
	二世帯同居(子と同居)	84	31.0	26.2	41.7	1.2
	三世帯同居	7	14.3	14.3	57.1	14.3
	その他(兄弟姉妹同居等)	65	50.8	10.8	32.3	6.2
	無回答	52	28.8	-	61.5	9.6

(11). 要介護認定の状況



介護保険の要介護認定者が1割強（12.3%）を占めている（要支援1・2：1.5%、要介護1～3：6.8%、要介護4～5：4.0%）。また、対象外（年齢）が7.1%、年齢は対象外ではないが要介護認定を受けていない人が8割弱（74.5%）となっている。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「要介護1～3」や「要介護4～5」の割合が高くなっており、75歳以上ではいずれも1割を超えている。

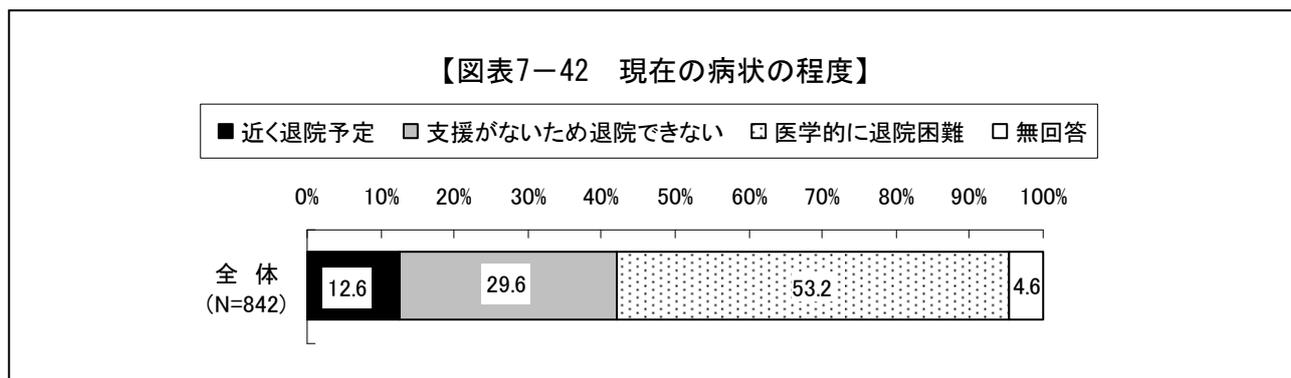
主な診断名（集約）別にみると、認知症の人では「要介護1～3」（28.6%）や「要介護4～5」（21.4%）の割合が2割強～3割弱と、高くなっている。

【図表7-41 年齢別・主な診断名（集約）別 要介護認定の状況】（%）

	調査数（人）	要介護認定の状況(集約)							要介護認定の状況									
		対象外（年齢）	要介護認定なし	要支援1～2	要介護1～3	要介護4～5	無回答	対象外（年齢）	非該当・未申請	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答	
全体	842	7.1	74.5	1.5	6.8	4.0	6.1	7.1	74.5	1.2	0.4	2.6	2.9	1.3	2.7	1.3	6.1	
年齢	30歳代以下	59	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40～64歳	355	-	92.4	0.6	1.7	1.1	4.2	-	92.4	0.6	-	0.6	0.6	0.8	0.3	4.2	
	65～74歳	230	-	82.2	1.7	7.8	2.6	5.7	-	82.2	1.7	-	4.3	2.2	1.3	1.7	0.9	5.7
	75歳以上	195	-	55.4	3.6	16.9	12.3	11.8	-	55.4	2.1	1.5	5.1	8.7	3.1	8.2	4.1	11.8
	無回答	3	33.3	66.7	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-
主な診断名（集約）	全体	842	7.1	74.5	1.5	6.8	4.0	6.1	7.1	74.5	1.2	0.4	2.6	2.9	1.3	2.7	1.3	6.1
	統合失調症	491	7.9	83.5	0.8	1.4	0.6	5.7	7.9	83.5	0.6	0.2	0.8	0.6	-	0.6	-	5.7
	気分(感情)障害	62	4.8	69.4	6.5	9.7	3.2	6.5	4.8	69.4	6.5	-	3.2	4.8	1.6	3.2	-	6.5
	依存症	45	4.4	86.7	-	4.4	-	4.4	4.4	86.7	-	-	2.2	2.2	-	-	-	4.4
	認知症	112	-	42.9	0.9	28.6	21.4	6.3	-	42.9	-	0.9	8.9	11.6	8.0	14.3	7.1	6.3
	その他	124	12.9	65.3	2.4	8.1	3.2	8.1	12.9	65.3	2.4	-	4.0	3.2	0.8	0.8	2.4	8.1
無回答	8	-	75.0	12.5	-	12.5	-	-	75.0	-	12.5	-	-	-	12.5	-	-	

3. 患者の病状等

(1). 現在の病状の程度



現在の病状の程度としては、「医学的に退院困難」（53.2%）が過半数となっている。次いで、「支援がないため退院できない」（29.6%）、「近く退院予定」（12.6%）となっている。

年齢別にみると、20歳代以下では「近く退院予定」（43.5%）の割合が4割を超えて高くなっているが、30・40歳代では2割台まで低下し、50歳代では1割台、60歳代以上では1割未満となっている。また、60歳代以上では「医学的に退院困難」な人が6割前後である。

主な診断名（集約）別にみると、依存症の人では「近く退院予定」（42.2%）が最も多くなっている。一方、総合失調症の人では6割強（61.5%）が「医学的に退院困難」である。

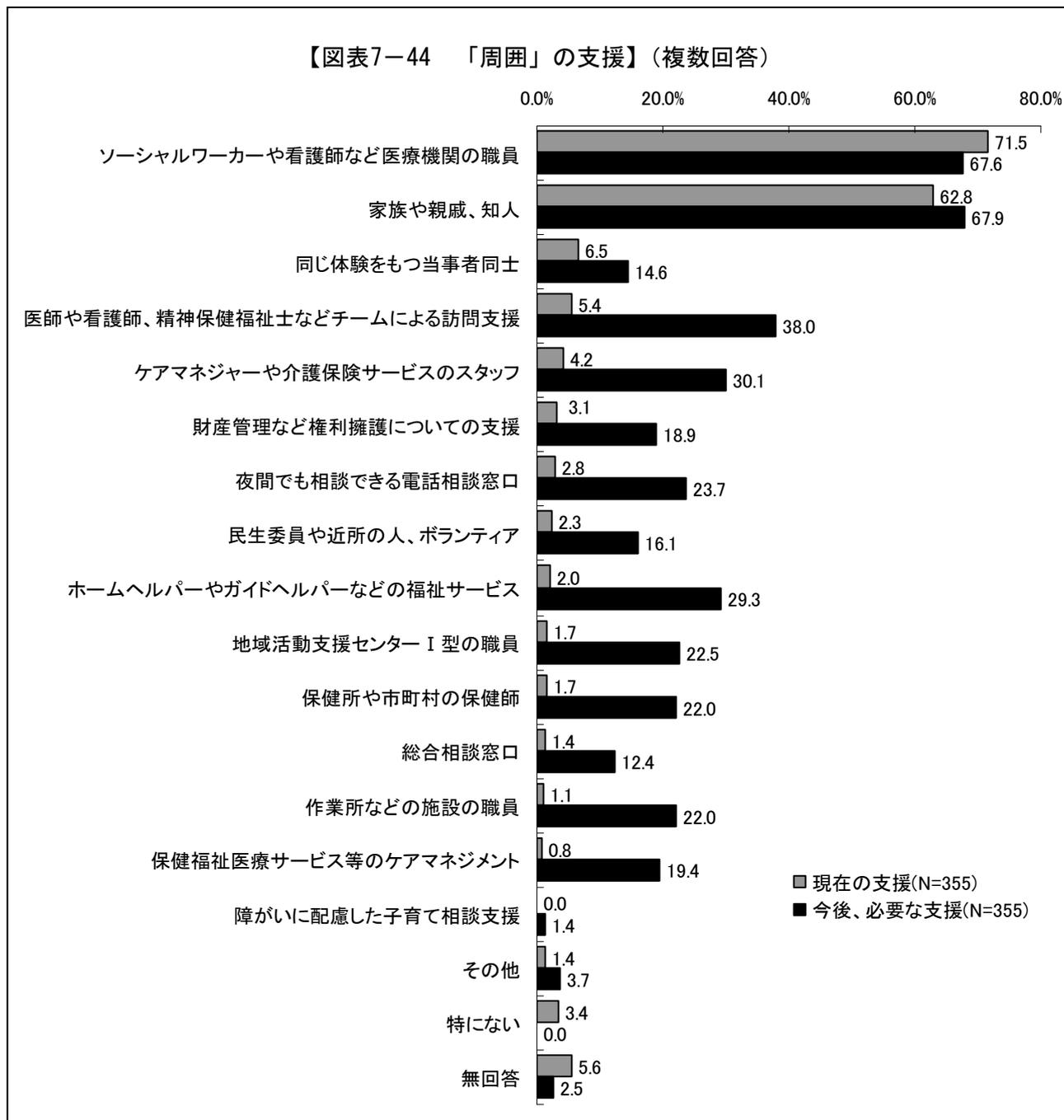
【図表7-43 年齢別・主な診断名（集約）別 現在の病状の程度】（%）

	調査数（人）	現在の病状の程度				
		近く退院予定	いめ支援退院がでない	困医学的に退院	無回答	
全体	842	12.6	29.6	53.2	4.6	
年齢	20歳代以下	23	43.5	26.1	21.7	8.7
	30歳代	36	25.0	25.0	41.7	8.3
	40歳代	104	20.2	31.7	46.2	1.9
	50歳代	125	15.2	36.0	44.0	4.8
	60～64歳	126	7.9	25.4	62.7	4.0
	65～74歳	230	7.0	32.6	57.0	3.5
	75歳以上	195	9.7	25.1	58.5	6.7
無回答	3	66.7	-	33.3	-	
全体	842	12.6	29.6	53.2	4.6	
主な診断名（集約）	統合失調症	491	6.1	28.1	61.5	4.3
	気分（感情）障害	62	27.4	27.4	38.7	6.5
	依存症	45	42.2	33.3	22.2	2.2
	認知症	112	17.9	28.6	50.0	3.6
	その他	124	15.3	34.7	42.7	7.3
	無回答	8	12.5	50.0	37.5	-

4. 退院に必要な条件等

「近く退院予定」、または、「医学的には退院可能だが、支援がないので退院できない」患者について、退院に必要な条件を『周囲の支援』『医療に関する支援』『生活の場（住まい）に関する支援』『日中活動や就労に関する支援』の4分野別について、現在の支援状況と、今後必要な支援をたずねた。

(1). 「周囲」の支援



現在の周囲の支援状況としては、「ソーシャルワーカーや看護師など医療機関の職員」（71.5%）が最も多く、次いで「家族や親戚、知人」（62.8%）となっており、その他はいずれも1割未満である。

また、今後、必要な支援としては、「家族や親戚、知人」（67.9%）と「ソーシャルワーカーや看護師など医療機関の職員」（67.6%）が7割弱で多く、次いで「医師や看護師、精神保健福祉士などチームによる訪問支援」（38.0%）、「ケアマネジャーや介護保険サービスのスタッフ」（30.1%）が3割台で続いている。

第7章 精神障がい者調査（入院患者調査：二次調査結果）

現在の周囲の支援状況について、年齢別にみると、20歳代以下では「家族や親戚、知人」（93.8%）の割合が特に高く、9割を超えている。また、「夜間でも相談できる電話相談窓口」（25.0%）や「総合相談窓口」（18.8%）の割合も他の年代に比べて高くなっている。

主な診断名（集約）別にみると、依存症の人では他に比べて「ソーシャルワーカーや看護師など医療機関の職員」（88.2%）や「同じ体験をもつ当事者同士」（38.2%）の割合が高くなっている。

【図表7-45 年齢別・主な診断名（集約）別・現在の病状の程度別

「周囲」の支援（現在の支援）（%）

	調査数（人）	「周囲」の支援（現在の支援）																		
		ソーシャルワーカーや看護師など医療機関の職員	家族や親戚、知人	同じ体験をもつ当事者同士	医師や看護師、精神保健福祉士などチームによる訪問支援	ケアマネジャーや介護保険サービスのスタッフ	財産管理など権利擁護についての支援	夜間でも相談できる電話相談窓口	民生委員や近所の人、ボランティア	ホームヘルパーやガイドヘルパーなどの福祉サービス	地域活動支援センター型職員	保健所や市町村の保健師	総合相談窓口	作業所などの施設の職員	保健福祉医療サービス等のケアマネジメント	障害に配慮した子育て相談支援	その他	特になし	無回答	
全体	355	71.5	62.8	6.5	5.4	4.2	3.1	2.8	2.3	2.0	1.7	1.7	1.4	1.1	0.8	-	1.4	3.4	5.6	
年齢	20歳代以下	16	68.8	93.8	12.5	-	6.3	25.0	-	-	-	6.3	18.8	-	-	-	-	-	6.3	
	30歳代	18	88.9	66.7	5.6	22.2	-	5.6	-	-	-	11.1	5.6	5.6	-	-	5.6	-	-	
	40歳代	54	70.4	64.8	9.3	7.4	-	3.7	3.7	1.9	5.6	-	-	1.9	-	-	1.9	3.7	7.4	
	50歳代	64	73.4	53.1	15.6	4.7	1.6	1.6	1.6	-	4.7	3.1	-	3.1	3.1	-	1.6	3.1	4.7	
	60～64歳	42	61.9	71.4	2.4	7.1	9.5	2.4	2.4	7.1	7.1	2.4	2.4	-	2.4	-	-	-	4.8	4.8
	65～74歳	91	74.7	60.4	2.2	4.4	4.4	3.3	-	3.3	-	-	1.1	-	-	-	2.2	3.3	5.5	
	75歳以上	68	67.6	61.8	-	1.5	8.8	4.4	1.5	-	-	-	1.5	-	-	-	-	-	4.4	7.4
無回答	2	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
全体	355	71.5	62.8	6.5	5.4	4.2	3.1	2.8	2.3	2.0	1.7	1.7	1.4	1.1	0.8	-	1.4	3.4	5.6	
主な診断名（集約）	統合失調症	168	66.1	63.1	5.4	4.8	1.2	3.6	1.2	-	1.8	2.4	2.4	0.6	1.2	0.6	-	2.4	6.0	5.4
	気分（感情）障害	34	64.7	79.4	-	5.9	2.9	-	8.8	-	2.9	2.9	-	5.9	-	-	-	-	-	8.8
	依存症	34	88.2	61.8	38.2	11.8	2.9	-	-	2.9	-	-	-	-	2.9	-	-	-	-	2.9
	認知症	52	75.0	75.0	-	1.9	11.5	3.8	1.9	1.9	-	-	1.9	-	-	-	1.9	-	-	7.7
	その他	62	79.0	45.2	1.6	6.5	6.5	4.8	6.5	9.7	3.2	1.6	1.6	3.2	1.6	3.2	-	-	3.2	3.2
無回答	5	60.0	40.0	-	-	20.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	
全体	355	71.5	62.8	6.5	5.4	4.2	3.1	2.8	2.3	2.0	1.7	1.7	1.4	1.1	0.8	-	1.4	3.4	5.6	
現在の病状	近く退院予定	106	80.2	75.5	13.2	10.4	7.5	1.9	8.5	3.8	5.7	0.9	4.7	3.8	3.8	-	-	0.9	-	0.9
	支援がないため退院できない	249	67.9	57.4	3.6	3.2	2.8	3.6	0.4	1.6	0.4	2.0	0.4	0.4	-	1.2	-	1.6	4.8	7.6
	医学的に退院困難	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第7章 精神障がい者調査（入院患者調査：二次調査結果）

今後必要な支援について、年齢別にみると、「作業所などの施設の職員」や「地域活動支援センターI型の職員」、「医師や看護師、精神保健福祉士などチームによる訪問支援」の割合は50歳代以下で高い傾向にある。また、65歳以上の高齢者では「ケアマネジャーや介護保険サービスのスタッフ」の割合が4～6割台と高くなっている。

主な診断名（集約）別にみると、現在の支援状況と同じく、依存症の人で「同じ体験をもつ当事者同士」（61.8%）の割合が高い。また、統合失調症の人では「医師や看護師、精神保健福祉士などチームによる訪問支援」（46.4%）の割合が高く、半数弱を占めている。

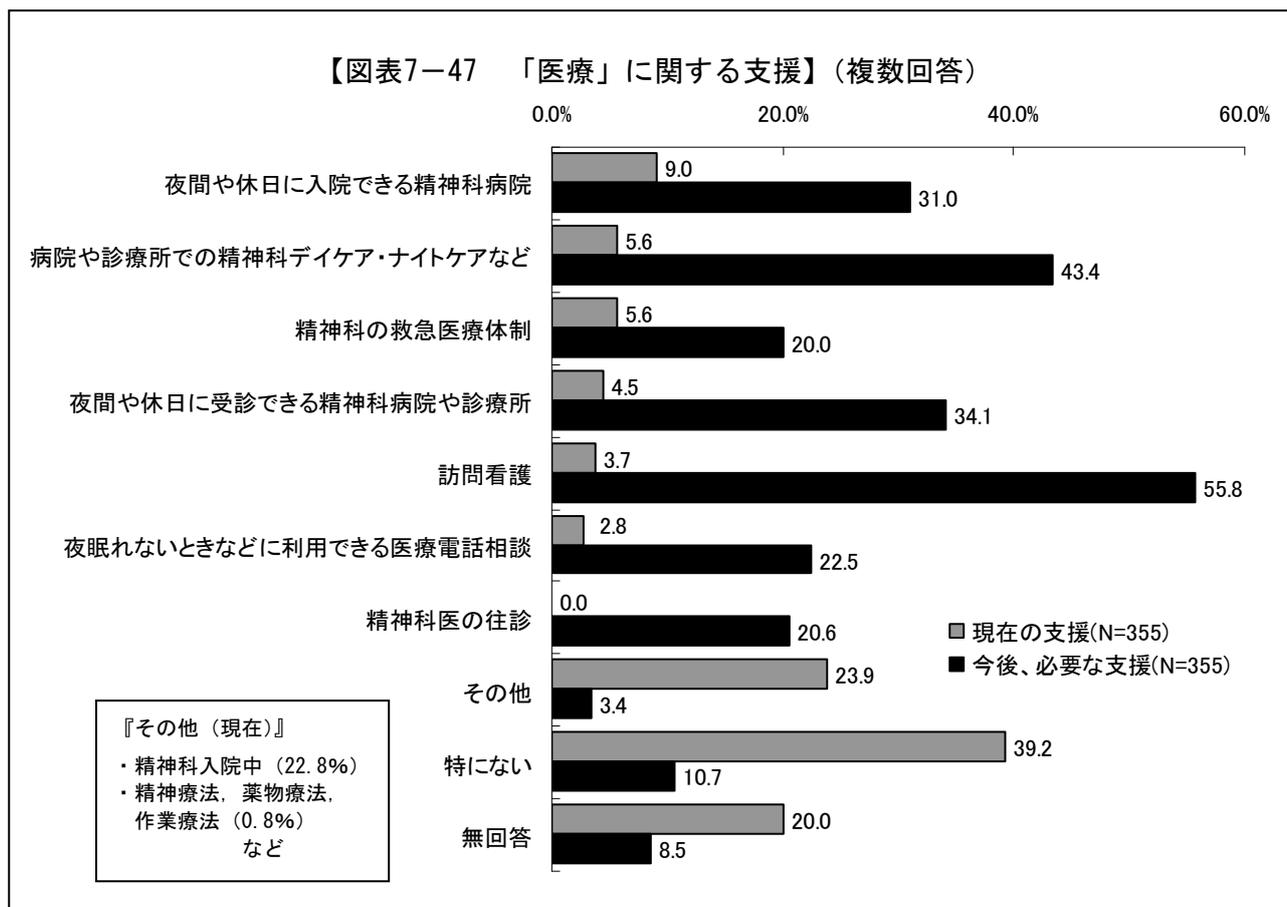
現在の病状の程度別にみると、支援がないために退院できない人では「医師や看護師、精神保健福祉士などチームによる訪問支援」（42.2%）や「保健福祉医療サービス等のケアマネジメント」（23.7%）、「財産管理など権利擁護についての支援」（23.3%）の割合が、近く退院予定の人に比べて高い。

【図表7-46 年齢別・主な診断名（集約）別・現在の病状の程度別

「周囲」の支援（今後必要な支援）（%）

	調査数（人）	「周囲」の支援（今後必要な支援）																		
		家族や親戚、知人	ソーシャルワーカーや看護師など医療機関の職員	医師や看護師、精神保健福祉士などチームによる訪問支援	ケアマネジャーや介護保険サービスのスタッフ	ホームヘルパーやガイドヘルパーなどの福祉サービス	夜間でも相談できる電話相談窓口	地域活動支援センターI型の職員	作業所などの施設の職員	保健所や市町村の保健師	保健福祉医療サービス等のケアマネジメント	財産管理など権利擁護についての支援	民生委員や近所の人、ボランティア	同じ体験をもつ当事者同士	総合相談窓口	障がいに配慮した子育て相談支援	その他	特になし	無回答	
全体	355	67.9	67.6	38.0	30.1	29.3	23.7	22.5	22.0	22.0	19.4	18.9	16.1	14.6	12.4	1.4	3.7	-	2.5	
年齢	20歳代以下	16	56.3	50.0	37.5	-	6.3	50.0	25.0	43.8	37.5	25.0	6.3	25.0	31.3	31.3	-	-	12.5	
	30歳代	18	66.7	55.6	44.4	5.6	27.8	16.7	27.8	38.9	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	-	-	
	40歳代	54	64.8	68.5	44.4	5.6	24.1	29.6	37.0	40.7	27.8	14.8	11.1	18.5	24.1	18.5	3.7	5.6	-	3.7
	50歳代	64	64.1	76.6	54.7	9.4	28.1	40.6	40.6	35.9	34.4	23.4	23.4	26.6	25.0	17.2	-	3.1	-	-
	60～64歳	42	71.4	81.0	28.6	31.0	42.9	19.0	19.0	19.0	26.2	16.7	16.7	16.7	14.3	11.9	-	2.4	-	2.4
	65～74歳	91	74.7	69.2	38.5	45.1	34.1	16.5	14.3	8.8	15.4	23.1	19.8	15.4	6.6	6.6	1.1	5.5	-	1.1
	75歳以上	68	67.6	57.4	22.1	63.2	26.5	11.8	2.9	1.5	11.8	17.6	23.5	4.4	2.9	7.4	-	-	-	4.4
無回答	2	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	
全体	355	67.9	67.6	38.0	30.1	29.3	23.7	22.5	22.0	22.0	19.4	18.9	16.1	14.6	12.4	1.4	3.7	-	2.5	
主な診断名（集約）	統合失調症	168	67.3	69.0	46.4	19.6	31.5	27.4	26.2	25.6	25.6	21.4	21.4	17.9	11.3	13.1	1.8	5.4	-	4.2
	気分（感情）障害	34	73.5	64.7	23.5	14.7	38.2	20.6	26.5	20.6	20.6	11.8	17.6	11.8	17.6	2.9	5.9	-	-	
	依存症	34	70.6	64.7	29.4	17.6	8.8	20.6	29.4	29.4	17.6	8.8	-	14.7	61.8	5.9	2.9	-	-	
	認知症	52	76.9	57.7	15.4	76.9	23.1	7.7	3.8	-	7.7	13.5	21.2	5.8	1.9	5.8	-	-	-	3.8
	その他	62	58.1	74.2	45.2	32.3	32.3	30.6	21.0	25.8	27.4	24.2	24.2	19.4	11.3	16.1	-	3.2	-	-
無回答	5	60.0	80.0	60.0	60.0	60.0	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-	
全体	355	67.9	67.6	38.0	30.1	29.3	23.7	22.5	22.0	22.0	19.4	18.9	16.1	14.6	12.4	1.4	3.7	-	2.5	
現在の病状の程度	近く退院予定	106	66.0	61.3	28.3	26.4	19.8	23.6	19.8	24.5	17.0	9.4	8.5	15.1	27.4	8.5	1.9	1.9	-	1.9
	支援がないため退院できない	249	68.7	70.3	42.2	31.7	33.3	23.7	23.7	20.9	24.1	23.7	23.3	16.5	9.2	14.1	1.2	4.4	-	2.8
	医学的に退院困難	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2). 「医療」に関する支援



現在の医療に関する支援状況については、「夜間や休日に入院できる精神科病院」（9.0%）、「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」と「精神科の救急医療体制」（それぞれ5.6%）が5%を超えている。また、「特にない」（39.2%）が4割を占めている。

また、今後、必要な支援としては、「訪問看護」（55.8%）が過半数で最も多く、次いで「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」（43.4%）、「夜間や休日に受診できる精神科病院や診療所」（34.1%）となっている。

第7章 精神障がい者調査（入院患者調査：二次調査結果）

現在の支援状況について、年齢別にみると、20歳代以下では「精神科医の往診」以外の項目で利用者の割合が他の年代に比べて高い傾向にある。また、「夜間や休日に受診できる精神科病院や診療所」や「夜間や休日に入院できる精神科病院」、「精神科の救急医療体制」の割合は30歳代においても高くなっている。

主な診断名（集約）別にみると、統合失調症や気分（感情）障害、認知症では「夜間や休日に入院できる精神科病院」の割合が最も高くなっている。

現在の病状の程度別にみると、全ての支援において近く退院予定の人で割合が高くなっている。

【図表7-48 年齢別・主な診断名（集約）別・現在の病状の程度別

「医療」に関する支援（現在の支援）（%）

	調査数（人）	「医療」に関する支援（現在の支援）										
		夜間や休日に入院できる精神科病院	精神科院や診療所での精神科の救急医療体制	夜間や休日に入院できる精神科病院や診療所	訪問看護	話相談に利用できる医療電	夜間や休日に入院できる精神科医の往診	その他	特になし	無回答		
全体	355	9.0	5.6	5.6	4.5	3.7	2.8	-	23.9	39.2	20.0	
年齢	20歳代以下	16	25.0	25.0	37.5	25.0	12.5	25.0	-	6.3	37.5	6.3
	30歳代	18	33.3	11.1	22.2	16.7	5.6	5.6	-	16.7	27.8	16.7
	40歳代	54	11.1	3.7	5.6	5.6	3.7	3.7	-	7.4	42.6	29.6
	50歳代	64	9.4	9.4	4.7	4.7	4.7	1.6	-	28.1	37.5	15.6
	60～64歳	42	2.4	4.8	2.4	-	2.4	2.4	-	21.4	38.1	28.6
	65～74歳	91	4.4	3.3	2.2	2.2	2.2	1.1	-	28.6	38.5	22.0
	75歳以上	68	7.4	1.5	1.5	1.5	2.9	-	-	35.3	41.2	13.2
	無回答	2	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
全体	355	9.0	5.6	5.6	4.5	3.7	2.8	-	23.9	39.2	20.0	
主な診断名（集約）	統合失調症	168	10.7	7.1	5.4	4.8	3.0	3.0	-	17.3	36.3	27.4
	気分（感情）障害	34	14.7	2.9	11.8	8.8	8.8	5.9	-	17.6	44.1	8.8
	依存症	34	-	5.9	2.9	-	8.8	2.9	-	32.4	50.0	5.9
	認知症	52	3.8	1.9	1.9	1.9	1.9	-	-	48.1	32.7	13.5
	その他	62	11.3	6.5	8.1	6.5	1.6	3.2	-	19.4	43.5	19.4
	無回答	5	-	-	-	-	-	-	-	40.0	40.0	20.0
全体	355	9.0	5.6	5.6	4.5	3.7	2.8	-	23.9	39.2	20.0	
現在の病状の程度	近く退院予定	106	17.0	9.4	12.3	13.2	11.3	7.5	-	18.9	42.5	6.6
	支援がないため退院できない	249	5.6	4.0	2.8	0.8	0.4	0.8	-	26.1	37.8	25.7
	医学的に退院困難	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

今後必要な支援について、年齢別にみると、40～50歳代では他の年代に比べて「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」の割合が高く、6割弱～7割弱となっている。また、40～64歳では「訪問看護」の割合が6～7割弱と高い。「精神科の救急医療体制」の割合は年齢が若いほど高く、20歳代以下では4割強（43.8%）となっている。

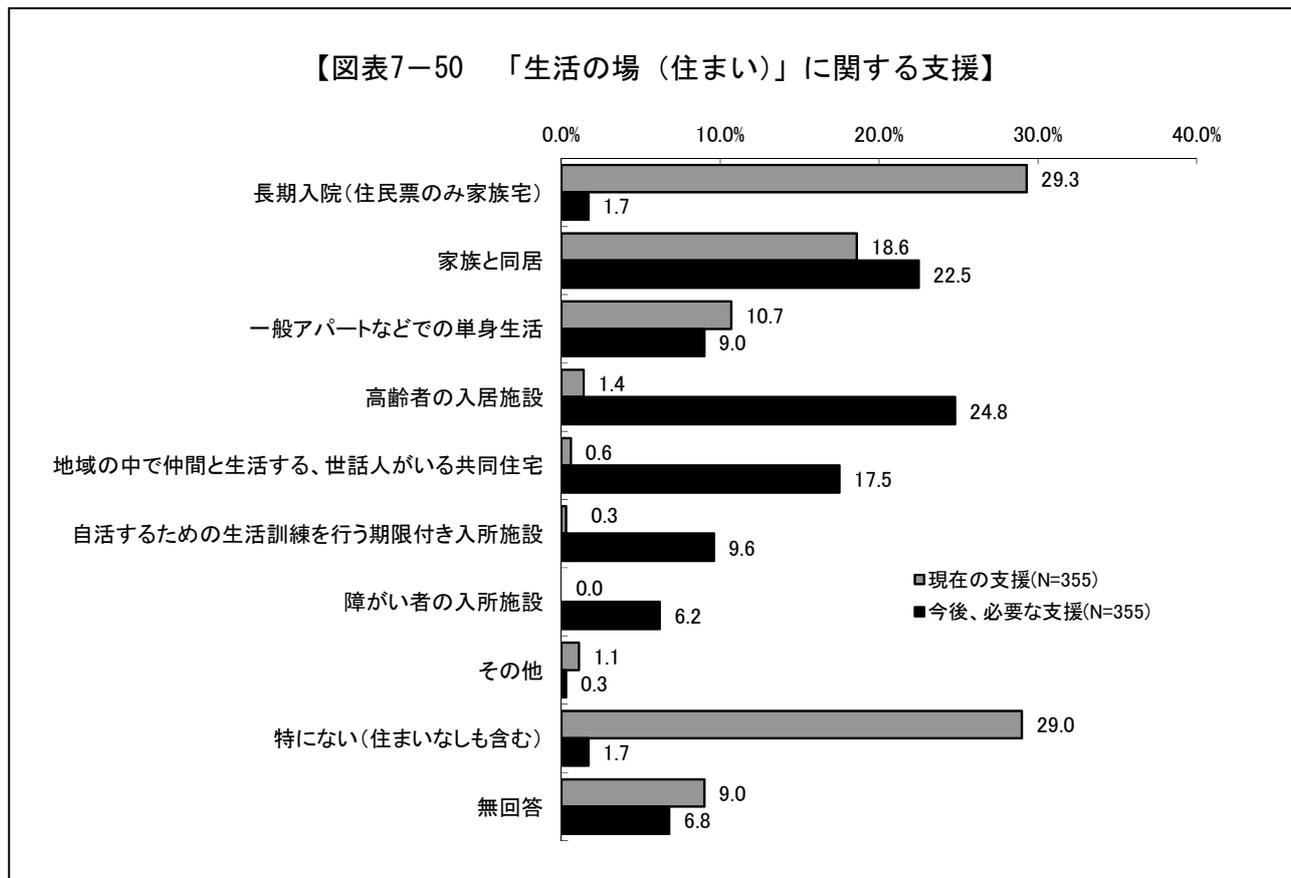
主な診断名（集約）別にみると、統合失調症では「訪問看護」や「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」、気分（感情）障害では「夜間や休日に入院できる精神科病院」、依存症では「夜間や休日に入院できる精神科病院」「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」の割合が5割以上と高くなっている。また認知症では「精神科の救急医療体制」が他の疾患と比べて高くなっている。

現在の病状の程度別にみると、支援がないために退院できない人では「訪問看護」（61.0%）や「病院や診療所での精神科デイケア・ナイトケアなど」（45.8%）、「精神科医の往診」（24.9%）の割合が、近く退院予定の人に比べて高い。

【図表7-49 年齢別・現在の病状の程度別 「医療」に関する支援（今後必要な支援）（%）

		調査数（人）	「医療」に関する支援（今後必要な支援）									
			話相利用できないとき医療電	夜間や休日に入院できる精神科病院	夜間や休日に入院できる精神科病院	夜間や休日に入院できる精神科病院	訪問看護	トケアなど	精神科医の往診	精神科の救急医療体制	その他	特にな
全体		355	22.5	31.0	34.1	55.8	43.4	20.6	20.0	3.4	10.7	8.5
年齢	20歳代以下	16	31.3	31.3	31.3	31.3	43.8	6.3	43.8	-	6.3	25.0
	30歳代	18	27.8	38.9	38.9	55.6	50.0	16.7	33.3	-	11.1	11.1
	40歳代	54	29.6	40.7	35.2	61.1	57.4	16.7	27.8	3.7	5.6	7.4
	50歳代	64	39.1	37.5	42.2	67.2	68.8	15.6	25.0	3.1	6.3	3.1
	60～64歳	42	21.4	33.3	33.3	69.0	42.9	19.0	16.7	2.4	7.1	7.1
	65～74歳	91	12.1	23.1	26.4	49.5	31.9	28.6	13.2	3.3	14.3	9.9
	75歳以上	68	11.8	25.0	35.3	48.5	20.6	23.5	11.8	5.9	17.6	8.8
	無回答	2	50.0	-	50.0	-	100.0	-	-	-	-	-
全体		355	22.5	31.0	34.1	55.8	43.4	20.6	20.0	3.4	10.7	8.5
主な診断名（集約）	統合失調症	168	29.2	35.1	35.1	59.5	53.6	21.4	26.8	3.0	8.9	12.5
	気分（感情）障害	34	11.8	55.9	32.4	23.5	32.4	20.6	26.5	-	11.8	5.9
	依存症	34	8.8	55.9	20.6	26.5	55.9	8.8	32.4	5.9	8.8	-
	認知症	52	28.8	40.4	21.2	3.8	15.4	5.8	38.5	7.7	9.6	9.6
	その他	62	21.0	54.8	32.3	17.7	38.7	19.4	32.3	-	17.7	3.2
	無回答	5	20.0	40.0	40.0	100.0	40.0	40.0	20.0	20.0	-	-
全体		355	22.5	31.0	34.1	55.8	43.4	20.6	20.0	3.4	10.7	8.5
現在の病状の程度	近く退院予定	106	24.5	29.2	37.7	43.4	37.7	10.4	17.9	3.8	10.4	5.7
	支援がないため退院できない	249	21.7	31.7	32.5	61.0	45.8	24.9	20.9	3.2	10.8	9.6
	医学的に退院困難	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3). 「生活の場（住まい）」に関する支援



生活の場（住まい）に関する支援の現在の支援状況については、「特にない（住まいなしも含む）」（29.0%）が3割を占めている。他は、「長期入院（住民票のみ家族宅）」（29.3%）が3割を占めて最も多く、次いで「家族と同居」（18.6%）、「一般アパートなどでの単身生活」（10.7%）となっている。

また、今後、必要な支援としては、「高齢者の入居施設」（24.8%）が最も多く、次いで、「家族と同居」（22.5%）、「地域の中で仲間と生活する、世話人がいる共同住宅」（17.5%）となっている。

現在の支援状況について、年齢別にみると、「家族と同居」の割合は年代が若いほど高く、20歳代以下では6割弱（56.3%）、30歳代では4割弱（38.9%）となっている。また、30歳代では「一般アパートなどでの単身生活」（33.3%）の割合も3割を超えて高い。

主な診断名（集約）別にみると、統合失調症では「長期入院（住民票のみ家族宅）」（33.3%）の割合が高い。また依存症では「一般アパートなどでの単身生活」（29.4%）が他の疾患と比べ割合が高くなっている。

現在の病状の程度別にみると、支援がないために退院できない人では「長期入院（住民票のみ家族宅）」（36.5%）の割合が高く、近く退院予定の人では「家族と同居」（36.8%）、「一般アパートなどでの単身生活」（23.6%）の割合が高い。

【図表7-51 年齢別、主な診断名（集約）別、現在の病状の程度別

「生活の場（住まい）」に関する支援（現在の支援）（%）

	調査数（人）	「生活の場（住まい）」に関する支援（現在の支援）										
		長期入院（住民票のみ）	家族と同居	単身生活	一般アパートなどでの	高齢者の入居施設	同居者の世帯中での仲間と生活	地域の世話人がいる生活	施設を自活するための生活訓練	障害者の入所施設	その他	（特になしも含む）
全体	355	29.3	18.6	10.7	1.4	0.6	0.3	-	1.1	29.0	9.0	
年齢	20歳代以下	16	6.3	56.3	6.3	-	-	-	-	25.0	6.3	
	30歳代	18	-	38.9	33.3	-	-	-	5.6	11.1	11.1	
	40歳代	54	20.4	20.4	14.8	-	-	-	-	35.2	9.3	
	50歳代	64	35.9	15.6	17.2	-	-	-	3.1	20.3	7.8	
	60～64歳	42	33.3	19.0	7.1	-	2.4	2.4	-	2.4	26.2	7.1
	65～74歳	91	29.7	13.2	7.7	2.2	1.1	-	-	-	36.3	9.9
	75歳以上	68	39.7	13.2	2.9	4.4	-	-	-	-	29.4	10.3
無回答	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	
全体	355	29.3	18.6	10.7	1.4	0.6	0.3	-	1.1	29.0	9.0	
主な診断名（集約）	統合失調症	168	33.3	13.1	8.3	0.6	-	0.6	-	0.6	31.5	11.9
	気分（感情）障害	34	20.6	35.3	17.6	5.9	-	-	-	2.9	17.6	-
	依存症	34	17.6	26.5	29.4	-	-	-	-	2.9	20.6	2.9
	認知症	52	32.7	26.9	1.9	3.8	-	-	-	1.9	21.2	11.5
	その他	62	27.4	12.9	11.3	-	3.2	-	-	-	38.7	6.5
無回答	5	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	40.0	20.0	
全体	355	29.3	18.6	10.7	1.4	0.6	0.3	-	1.1	29.0	9.0	
現在の病状	近く退院予定	106	12.3	36.8	23.6	1.9	0.9	-	-	1.9	19.8	2.8
	支援がないため退院できない	249	36.5	10.8	5.2	1.2	0.4	0.4	-	0.8	32.9	11.6
	医学的に退院困難	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第7章 精神障がい者調査（入院患者調査：二次調査結果）

今後必要な支援について、年齢別にみると、40歳代では「自活するための生活訓練を行う期限付き入所施設」（20.4%）、50歳代では「一般アパートなどでの単身生活」（25.0%）の割合がそれぞれ他の年代に比べて高い。また、65歳以上の高齢者では「高齢者の入居施設」の割合が高く、特に75歳以上では7割（69.1%）と高くなっている。

主な診断名（集約）別にみると、気分（感情）障害の人では他に比べて「家族と同居」（50.0%）の割合が高く、半数を占めている。また、認知症では「高齢者の入居施設」（67.3%）の割合が7割弱を占めて高い。

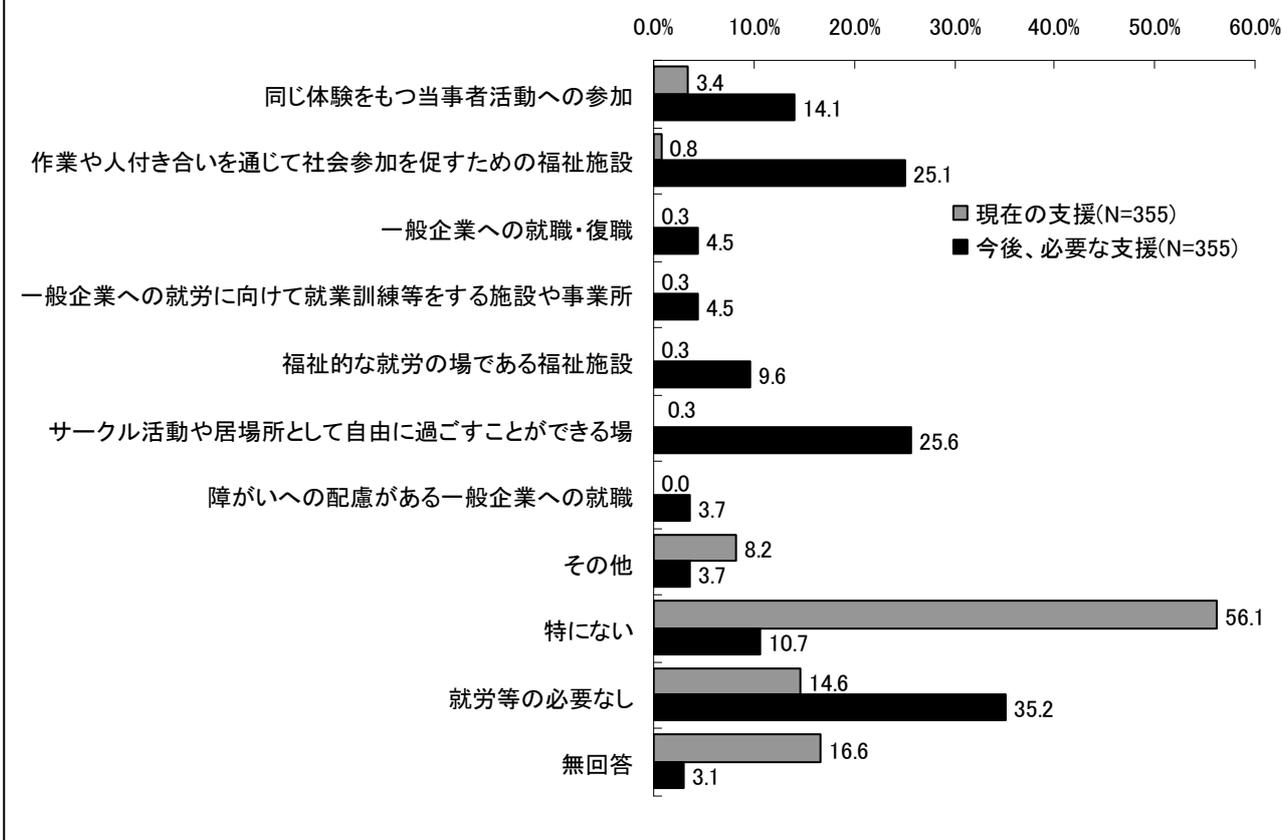
現在の病状の程度別にみると、支援がないために退院できない人では「高齢者の入居施設」（28.9%）や「地域の中で仲間と生活する、世話人がいる共同住宅」（20.9%）の割合が、近く退院予定の人に比べて高い。

【図表7-52 年齢別、主な診断名（集約）別、現在の病状の程度別
「生活の場（住まい）」に関する支援（今後必要な支援）】（%）

	調査数（人）	「生活の場（住まい）」に関する支援（今後必要な支援）									
		高齢者の入居施設	家族と同居	同居の世話が できる共同生活	地域の仲間と生活	施設を 行うための 生活訓練	自活する ための生活 訓練	単身生活 アパートなど での	障がい者の 入所施設	長期入院 （住民票のみ）	その他
全体	355	24.8	22.5	17.5	9.6	9.0	6.2	1.7	0.3	1.7	6.8
年齢	20歳代以下	16	-	31.3	12.5	6.3	12.5	6.3	-	-	31.3
	30歳代	18	-	5.6	22.2	16.7	11.1	16.7	-	-	22.2
	40歳代	54	-	27.8	13.0	20.4	14.8	7.4	-	1.9	11.1
	50歳代	64	4.7	21.9	28.1	9.4	25.0	6.3	1.6	-	3.1
	60～64歳	42	11.9	33.3	26.2	14.3	4.8	7.1	-	-	2.4
	65～74歳	91	36.3	24.2	16.5	6.6	2.2	6.6	2.2	-	3.3
	75歳以上	68	69.1	13.2	5.9	-	-	1.5	4.4	-	4.4
	無回答	2	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-
全体	355	24.8	22.5	17.5	9.6	9.0	6.2	1.7	0.3	1.7	6.8
主な診断名 （集約）	統合失調症	168	14.9	17.3	23.8	12.5	8.3	8.3	1.8	0.6	10.1
	気分（感情）障害	34	23.5	50.0	2.9	2.9	8.8	-	2.9	-	8.8
	依存症	34	11.8	35.3	20.6	8.8	23.5	-	-	-	-
	認知症	52	67.3	19.2	7.7	1.9	-	-	-	-	3.8
	その他	62	24.2	14.5	16.1	11.3	11.3	12.9	3.2	-	3.2
	無回答	5	20.0	60.0	-	20.0	-	-	-	-	-
全体	355	24.8	22.5	17.5	9.6	9.0	6.2	1.7	0.3	1.7	6.8
現在の病状 の程度	近く退院予定	106	15.1	35.8	9.4	5.7	19.8	-	0.9	0.9	10.4
	支援がないため退院できない	249	28.9	16.9	20.9	11.2	4.4	8.8	2.0	-	5.2
	医学的に退院困難	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(4). 「日中活動や就労」に関する支援

【図表7-53 「日中活動や就労」に関する支援】（複数回答）



現在の日中活動や就労に関する支援状況については、「特になし」（56.1%）が過半数、「就労等の必要なし」（14.6%）が1割強である。しかし、今後、必要な支援としては、「サークル活動や居場所として自由に過ごすことができる場」（25.6%）と「作業や人付き合いを通じて社会参加を促すための福祉施設」（25.1%）がいずれも2割を超えている。これに「同じ体験をもつ当事者活動への参加」（14.1%）が1割台で続いている。

第7章 精神障がい者調査（入院患者調査：二次調査結果）

現在の支援状況について、年齢別にみても大きな違いはみられないが、「就労等の必要なし」の割合は年齢が上がるほど高く、75歳以上では3割強（35.3%）となっている。

主な診断名（集約）別にみると、依存症では「同じ体験をもつ当事者活動への参加」（14.7%）の割合が他に比べて高く、1割強を占めている。「特にない」の割合はいずれの診断名においても最も高く、気分（感情）障害では6割強（64.7%）と他に比べて高くなっている。また、「就労等の必要なし」の割合は、認知症（30.8%）、気分（感情）障害（20.6%）の順で高い。

【図表7-54 年齢別、主な診断名（集約）別、現在の病状の程度別

「日中活動や就労」に関する支援（現在の支援）（%）

	調査数（人）	「日中活動や就労」に関する支援（現在の支援）												
		活動への参加	同じ体験をもつ当事者	めりての福祉施設	作業や人参加を促す	職一般企業への就職・復	施設や事業所	一般企業への就労に向	る福祉的な就労の場であ	とができる場	サークル活動や居場所	障害への配慮がある一	その他	特にない
全体	355	3.4	0.8	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	-	8.2	56.1	14.6	16.6
年齢	20歳代以下	16	6.3	6.3	-	-	-	-	-	-	12.5	50.0	-	25.0
	30歳代	18	5.6	-	5.6	5.6	-	-	-	-	16.7	61.1	-	11.1
	40歳代	54	5.6	-	-	-	-	-	-	-	5.6	66.7	3.7	18.5
	50歳代	64	6.3	1.6	-	-	1.6	1.6	-	-	12.5	57.8	3.1	17.2
	60～64歳	42	2.4	-	-	-	-	-	-	-	4.8	57.1	14.3	21.4
	65～74歳	91	1.1	-	-	-	-	-	-	-	6.6	54.9	19.8	17.6
	75歳以上	68	-	-	-	-	-	-	-	-	7.4	47.1	35.3	10.3
無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	
全体	355	3.4	0.8	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	-	8.2	56.1	14.6	16.6
主な診断名（集約）	統合失調症	168	3.6	0.6	0.6	0.6	0.6	-	0.6	-	7.7	56.5	10.7	19.6
	気分（感情）障害	34	-	-	-	-	-	-	-	-	5.9	64.7	20.6	8.8
	依存症	34	14.7	2.9	-	-	2.9	-	-	-	17.6	50.0	5.9	11.8
	認知症	52	-	-	-	-	-	-	-	-	9.6	51.9	30.8	7.7
	その他	62	1.6	1.6	-	-	-	-	-	-	4.8	58.1	14.5	19.4
無回答	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	-	60.0	
全体	355	3.4	0.8	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	-	8.2	56.1	14.6	16.6
現在の病状	近く退院予定	106	5.7	2.8	0.9	0.9	0.9	0.9	-	-	7.5	62.3	14.2	7.5
	支援がないため退院できない	249	2.4	-	-	-	-	0.4	-	-	8.4	53.4	14.9	20.5
	医学的に退院困難	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

今後必要な支援について、年齢別にみると、ほとんどの項目において30～50歳代で支援が必要な人の割合が高くなっている。

主な診断名（集約）別にみると、統合失調症では「サークル活動や居場所として自由に過ごすことができる場」（37.5%）、依存症では「同じ体験をもつ当事者活動への参加」（58.8%）の割合が他に比べて高くなっている。

現在の病状の程度別にみると、支援がないために退院できない人では「サークル活動や居場所として自由に過ごすことができる場」（30.5%）の割合が、近く退院予定の人に比べて高い。

【図表7-55 年齢別・主な診断名（集約）別
「日中活動や就労」に関する支援（今後必要な支援）】（%）

	調査数（人）	「日中活動や就労」に関する支援（今後必要な支援）											
		と と サ め 作 活 同 る 職 一 施 一 般 障 そ 特 就 無 が し ー の 業 動 じ 福 社 社 業 へ の 就 業 所 設 て 就 業 訓 練 等 を 労 す る 向 一 般 企 業 へ の 就 職 ・ 復 職 一 般 企 業 へ の 配 慮 が あ る 一 障 害 へ の 配 慮 が あ る 一 そ の 他 特 に な い 就 業 等 の 必 要 な し 無 回 答											
全体	355	25.6	25.1	14.1	9.6	4.5	4.5	3.7	3.7	10.7	35.2	3.1	
年齢	20歳代以下	16	37.5	50.0	18.8	12.5	12.5	6.3	-	6.3	6.3	-	-
	30歳代	18	38.9	44.4	11.1	22.2	5.6	11.1	11.1	-	11.1	5.6	5.6
	40歳代	54	40.7	44.4	24.1	22.2	5.6	13.0	7.4	1.9	11.1	5.6	5.6
	50歳代	64	45.3	46.9	23.4	21.9	14.1	7.8	9.4	1.6	4.7	9.4	1.6
	60～64歳	42	33.3	26.2	19.0	2.4	-	-	-	7.1	4.8	33.3	2.4
	65～74歳	91	13.2	6.6	6.6	-	1.1	1.1	1.1	3.3	13.2	58.2	3.3
	75歳以上	68	1.5	1.5	1.5	-	-	-	-	5.9	17.6	70.6	2.9
無回答	2	-	50.0	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	
全体	355	25.6	25.1	14.1	9.6	4.5	4.5	3.7	3.7	10.7	35.2	3.1	
主な診断名（集約）	統合失調症	168	37.5	32.1	10.1	12.5	2.4	4.2	3.0	4.2	8.3	26.8	5.4
	気分（感情）障害	34	17.6	20.6	8.8	14.7	5.9	14.7	11.8	-	14.7	44.1	2.9
	依存症	34	11.8	20.6	58.8	8.8	17.6	2.9	5.9	2.9	2.9	11.8	-
	認知症	52	1.9	3.8	-	-	-	-	-	3.8	21.2	69.2	1.9
	その他	62	27.4	29.0	16.1	6.5	4.8	3.2	3.2	3.2	11.3	37.1	-
	無回答	5	-	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	20.0	-	40.0	-
全体	355	25.6	25.1	14.1	9.6	4.5	4.5	3.7	3.7	10.7	35.2	3.1	
現在の病状	近く退院予定	106	14.2	26.4	20.8	13.2	10.4	8.5	6.6	2.8	14.2	26.4	2.8
	支援がないため退院できない	249	30.5	24.5	11.2	8.0	2.0	2.8	2.4	4.0	9.2	39.0	3.2
	医学的に退院困難	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

